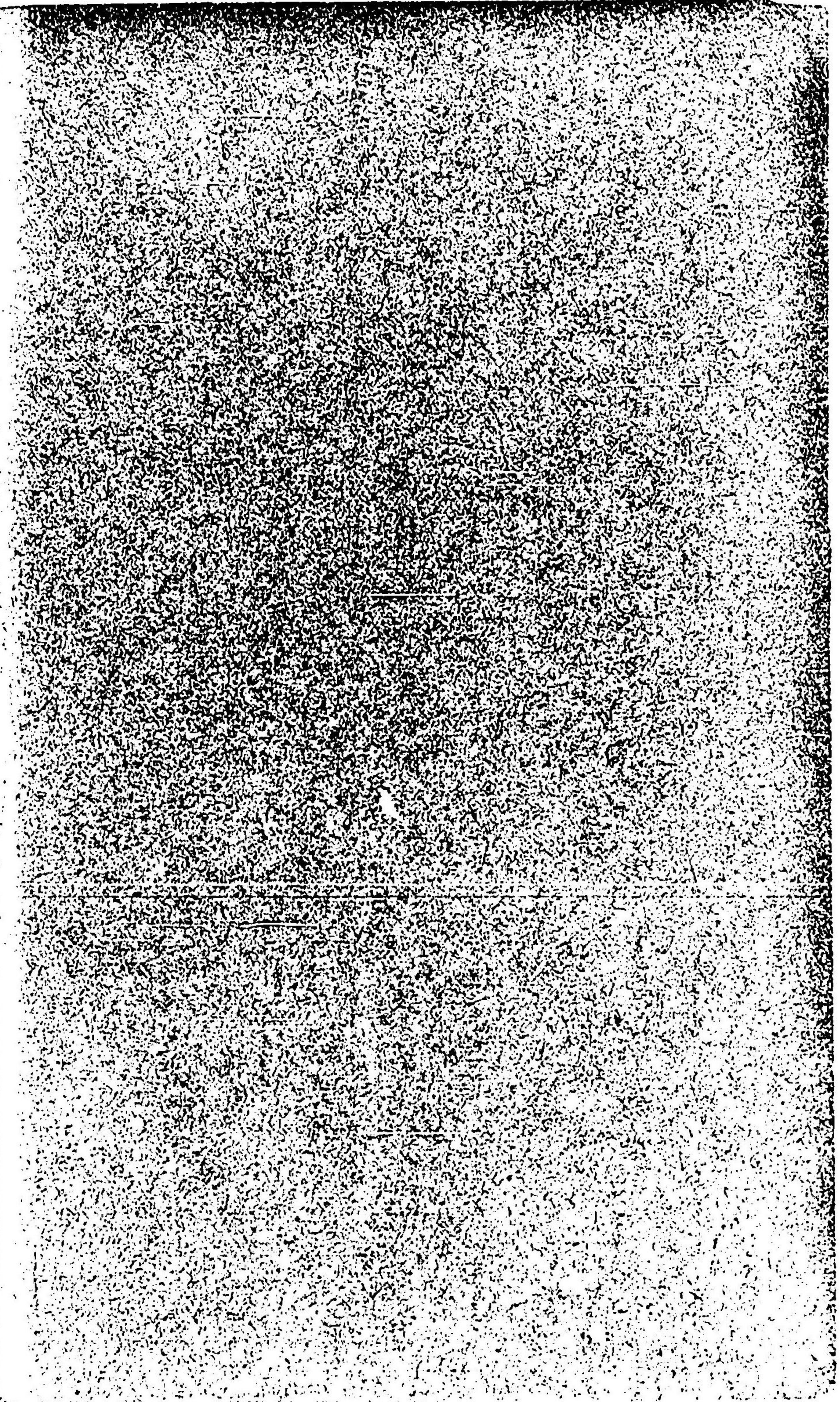


90  
12

吉村大次郎著

ニキサ州米作の實驗

海外起業同志會發行

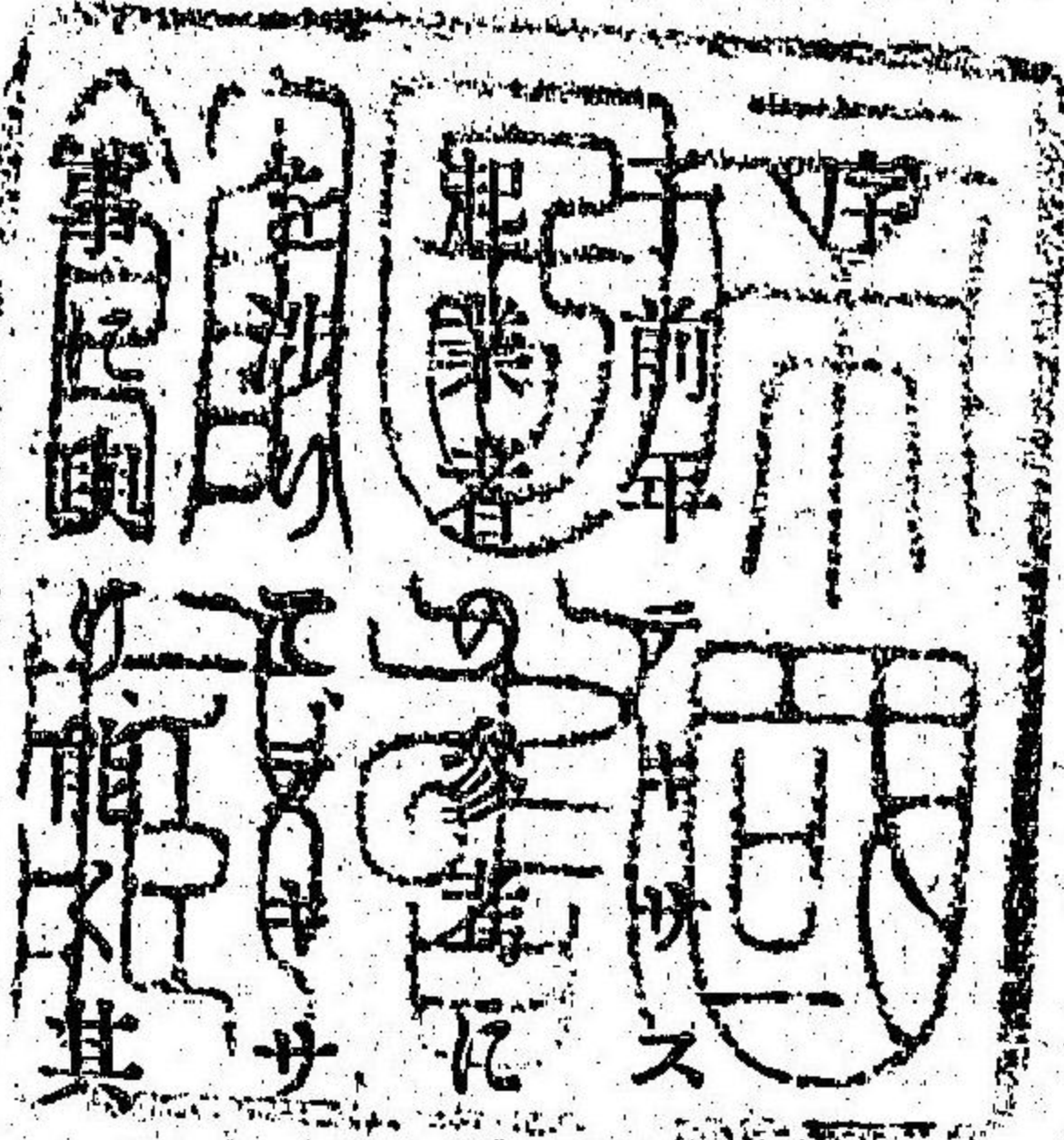


### ◎海外起業同志會の成績及び抱負◎

本會は設立以來未だ年餘に過ぎずと雖も、能く堅實にして有爲なる渡米起業者を糾合して、其農商たると將た學生視察者たるとを問はず、各志に應じて其目的を達せしむるに努めたり、而して彼土に於ける成績に至ては昨年中本會々長自ら往訪調査する所の結果極めて佳良にして、既に諸種の事業に將た學業に著々成功の途に登れる者百十有餘名至る所の地方に會員の先輩は能く後進晚來の人々を善道誘掖し親睦の情鞠す可きものあり、特にアキサス州米作の事業は相當の資力と設備とを要すること勿論なれども、苟くも其力を備ふる人々の爲には其有望なると決して内地諸事業の倫を同ふする所に非ることは本會獨得の實験上之を保證するに躊躇せず、即ち發して此冊子となる所以なり

本會は茲に既往三年間の實験と調査の結果に鑑み、組織を擴張し規則を改定し、以て愈我目的を大成するの域に直進勇往せんと欲す、但し本會は往々世間に現はるゝ渡米周旋業者の如きものに非るを以て、無資力にして渡米を希望する者若くは海外旅券の周旋を依頼し來る者の如きは全然として拒絶する所なり

明治三十八年四月



前年アキサス州の米作と題する一書を公にして聊起業者の参考に供せんと擬したりき爾後再び太平洋を渡りてアキサス州に入り在留一年自ら米作其他の事に關り能く其の消息に通ずるを得たりと信ず則ち其願末を叙述して更に此書を爲す庶希は前著書と相須て後進起業者の指針たらんか

明治三十八年五月

大阪に於て

吉村大次郎

講治

38 6 1

内交

# テキサス州米作の實驗 目次

## 緒言

### 第一、テキサス州の大勢

○位地 ○面積 ○人口 ○河川 ○都府 ○農産 ○統計

### 第二、テキサス州の氣候と風土

(一) 學者の調査 (二) 著者の實驗

### 第三、米作地帯の形勢

(イ) 如何にして其地に行くか、(ロ) 沿道の光景  
(ハ) 平原の風致、(ニ) ヒューストン市

### 第四、起業の準備

(一) 土地の選定、其重要件、(二) 土地の代金  
(三) 土地代金の拂方、(四) 土地仲買人の事

- (五) 賣買の條件
- (六) 賣買の締結
- (七) 鐵道會社と土地と移住者

第五、着手の順序

- (一) 井戸の設備、
- (二) 住宅、
- (三) 馬匹、
- (四) 農具、
- (五) 結棚、

第六、作業

- (一) 田面の鋤き起し、
- (二) 地均らし及び播種
- (三) 畦造り、
- (四) 種米、
- (五) 稻發生と灌水、
- (六) 蒔取り及び稻こぎ
- (七) 米の賣却

第七、米作の收支豫算

- (一) 豫算の基礎、
- (二) 自田自作の事
- (三) 小作の事、
- (四) 種米用と精米用

第八、米作上の注意

- (一) 米作障害の有無、
- (二) 肥料の要否
- (三) 雜草及び作物變換の事、
- (四) 米作の季節
- (五) 米作者の副産、
- (六) 渡航者の注意

第九、米作業の現況及び將來

- (一) 米國人の米の需要
- (二) テキサス米と在米日本人

第十、米以外の作物

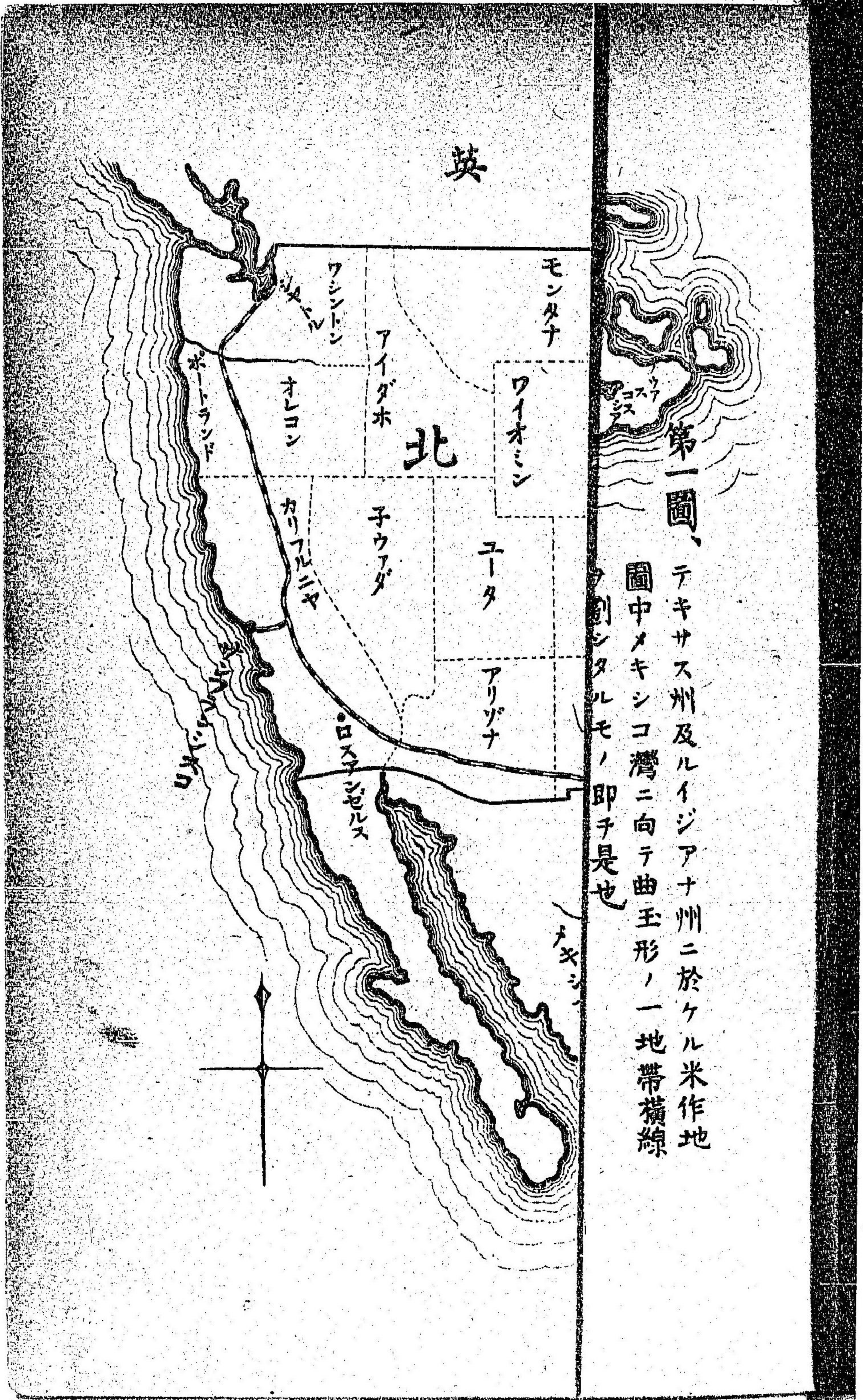
- (一) 其概要、
- (二) 桃園
- (三) アルファアルファの事、
- (四) 野菜の種類
- (五) 畑作の資本

第十一、生産組合の事

第十二、賣地の多き所以

第十三、土地所有權と日本人と歸化法

第十四、植民の生活



テキサス州米作の實驗目次畢

第十五、英語の必要と團體起業の利益……………一〇一

第十六、米國に於ける地方的感情……………一〇三

第十七、旅券問題……………一〇七

附 録

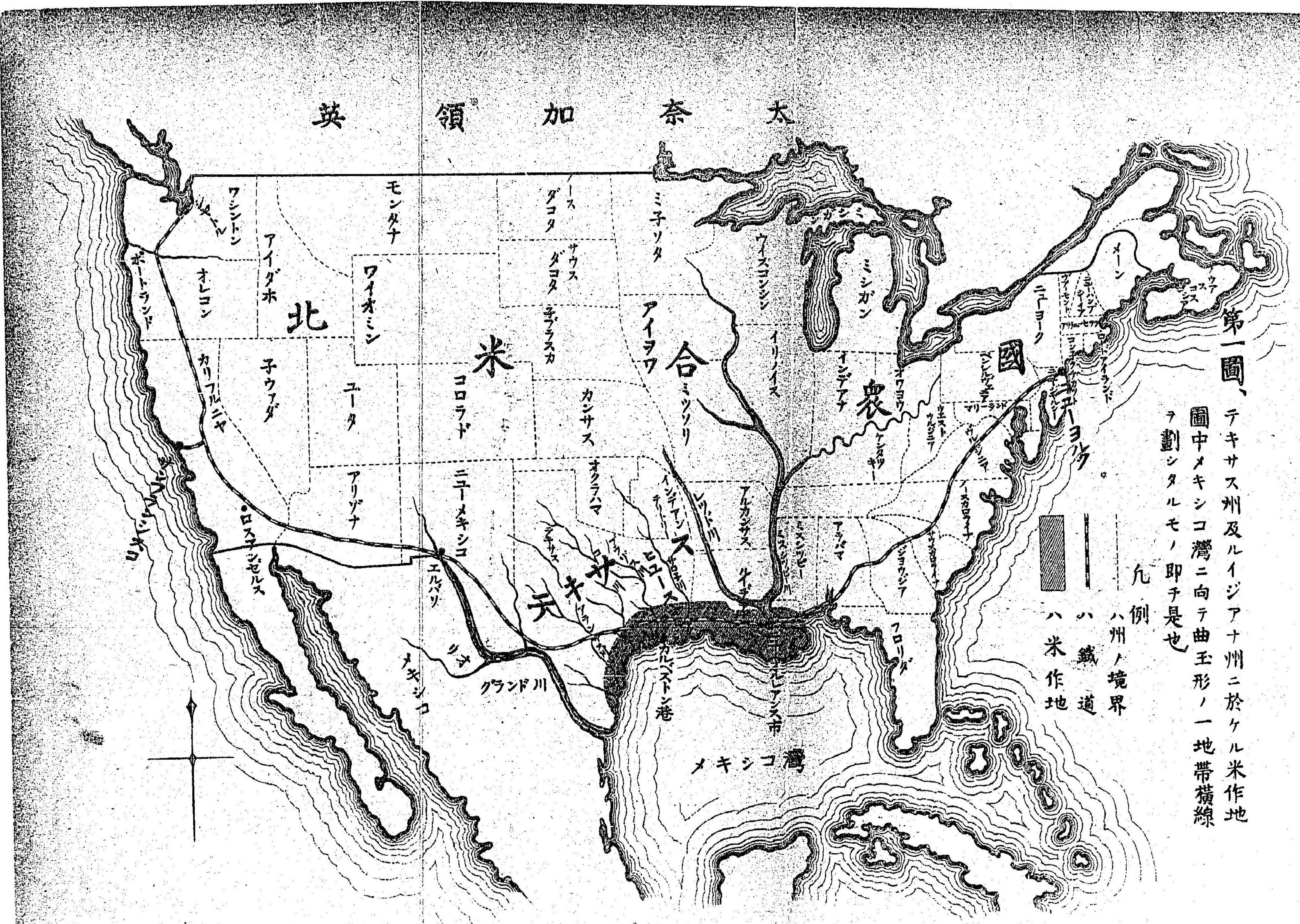
テキサス州歴史の概要……………一〇九

- 大古の民 ○最初の佛蘭西植民 ○西班牙の植民政略 ○西班牙植民の運命 ○米人の野心 ○米人テキサスに注目す ○ノランの進入 ○ルイジアナの購買 ○テキサスへの影響 ○境界問題 ○メキシコノ獨立 ○米人のテキサス侵入 ○米國人のテキサス植民 ○テキサス米人の革命運動 ○獨立したるテキサス ○テキサス合衆國に合併す ○南北戦争 ○最近のテキサス

テキサス州歴史の概要

- 大古の民 ○最初の佛蘭西植民 ○西班牙の植民政畧 ○西班牙植民の運命 ○米人の野心 ○米人テキサスに注目す ○ノランの進入 ○ルイジアナの購買 ○テキサスへの影響 ○境界問題 ○メキシコノ獨立 ○米人のテキサス侵入 ○米國人のテキサス植民 ○テキサス米人の革命運動 ○獨立したるテキサス ○テキサス合衆國に合併す ○南北戦争 ○最近のテキサス

テキサス州米作の實驗目次畢



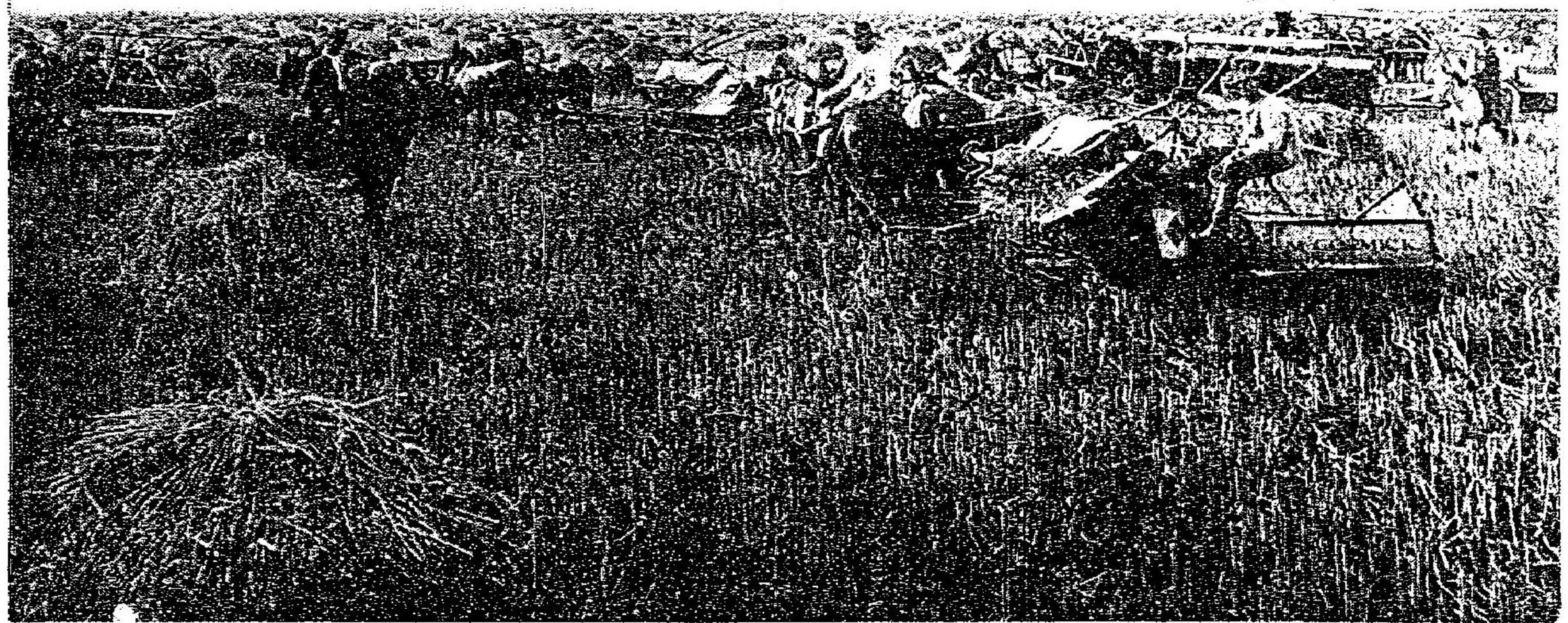


テ キ ヲ ス 州 米 田 耕 鋤 の 圖

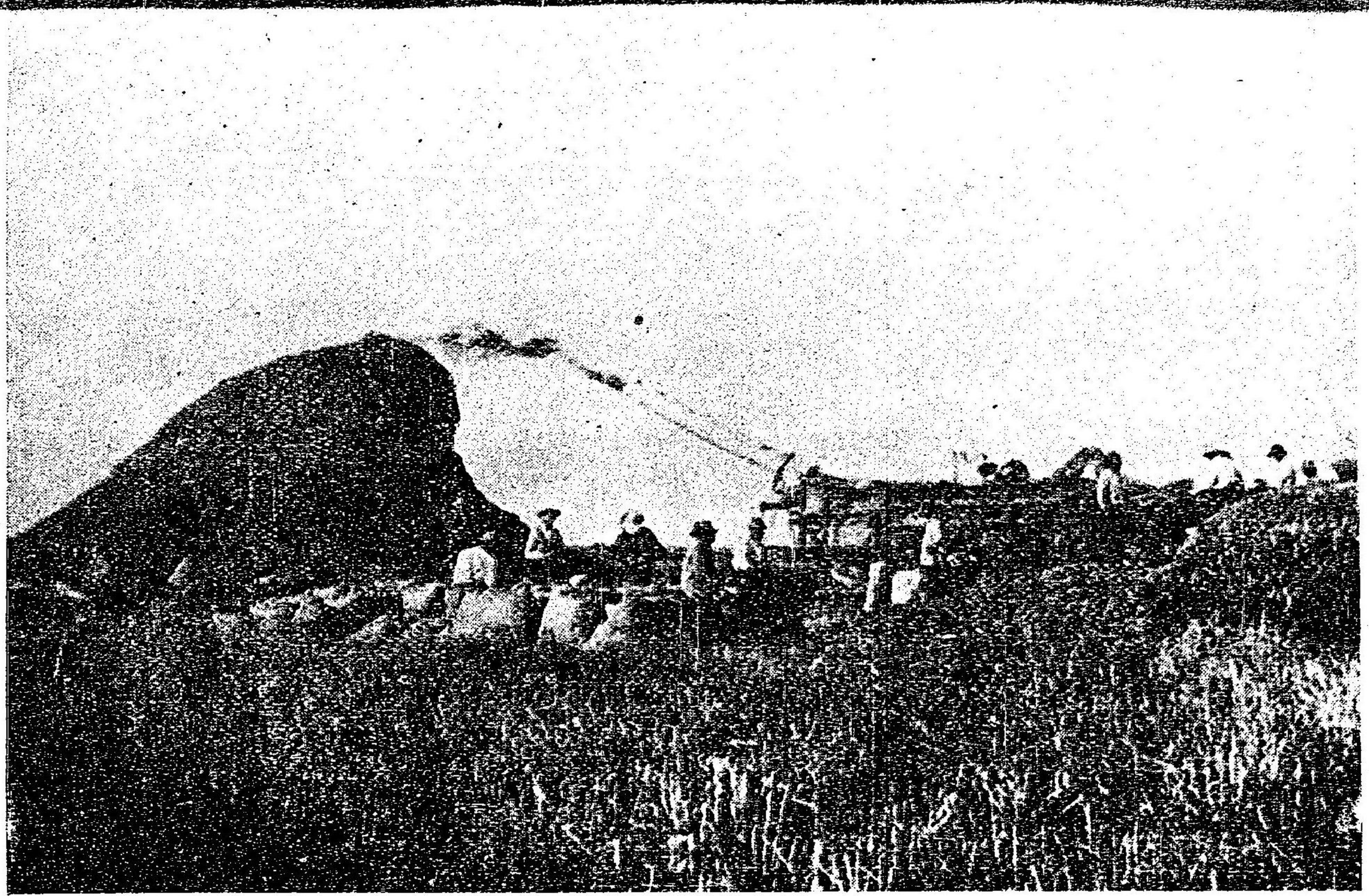


在サキ州日本人米作者の圖





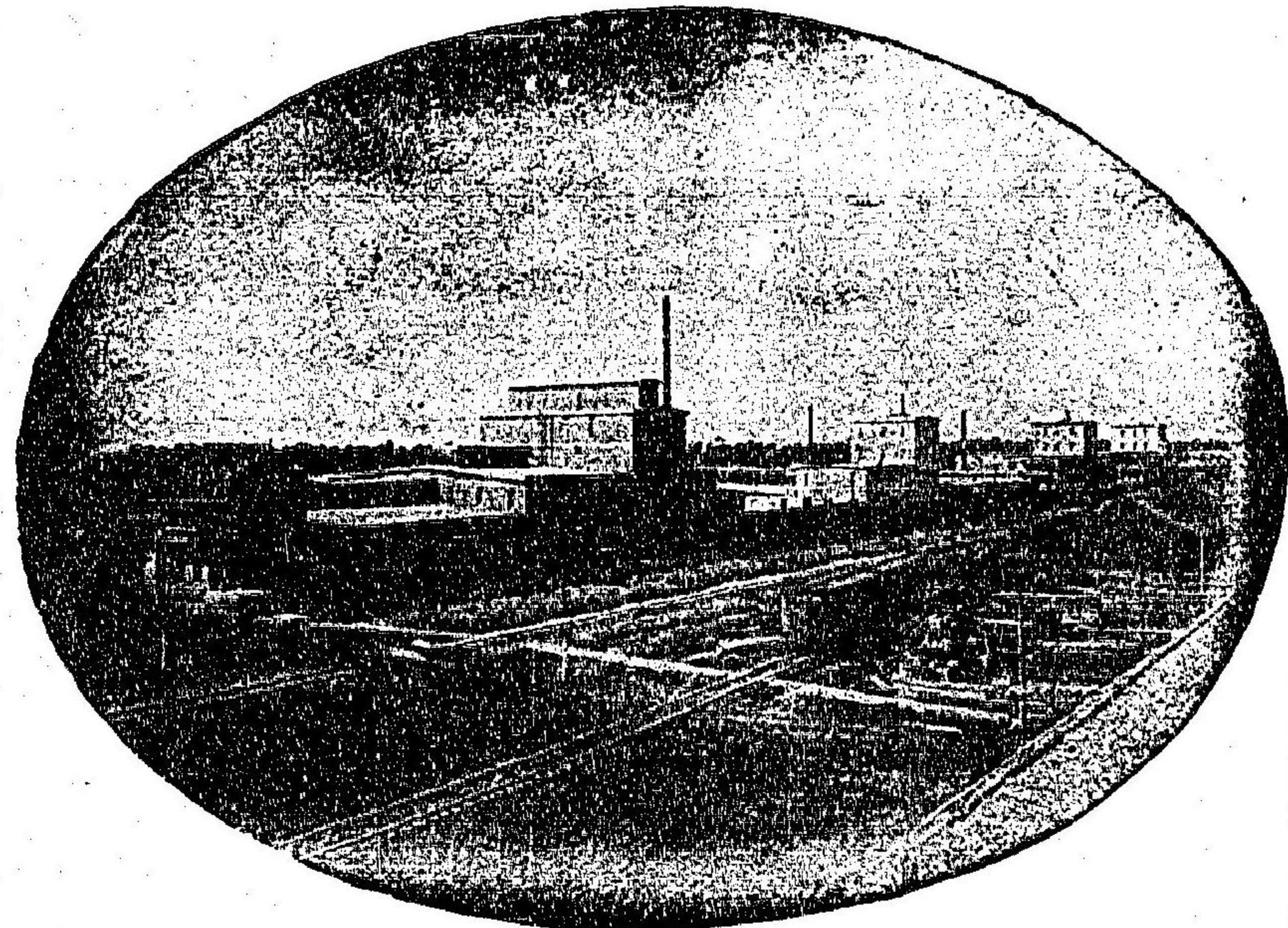
米 田 蒞 取 の 圖



稻 乙 ぎ の 圖



友良の者業起人本日  
長課業營道鐵クツイフシバンザウサ  
氏ソゾーダンアセテ



景 眞 の 所 米 精

# テキサス州米作實驗談

吉村大次郎述



緒言

植民は國家百年の大計である、個人より見れば子々孫々に亘るの事業である、其成敗利鈍は國力の消長に關することである、植民とは何々やといふ學者の定義ばかりでも二十通り以上にも分れる位なものだ、併しろんなとを今茲に論ずる積でない、たゞ今日の日本人がテキサスへ出て行て農業に従事するといふとを假に植民と名けるならばそれは格別困難な仕事ではない、只だ出て行く其人々に若干の資格を要するまでである。土地狭くして人口過多、農業發達の餘地極めて乏しい此内地から、比較的有爲の氣象ある人物が一步進んで勸勞と投資の地を海外の新方面に求め、其報酬多くして、前途

多望なる所に力を用ひに行くといふに過ぎないのである。而して其方法としては己れ  
 自ら行くと、子弟を遣すと、或は相當の資金を投じ組織を立て、信任する人に之を行  
 らせるとに論なく、苟も三年五年の歳月を一期として、資金の全額を回収し、後に其  
 財産を残して尙ほ年々内地の諸事業よりは割合の善い利益を得るの成算が明に立つ  
 とすれば、而して又其地方の天然と人事の上に甚しき支障困難が無いとすれば、ろ  
 れころは即ち有望の植民地有望の事業なりとして、進んで實行すべきことである、但し  
 實行の前には十分の調査が必要である、否な實地の經驗が必要である、想像の空論は  
 事に益なく却て他人を誤るの恐あり、苟くも言責を負ふて世に立者は、其事柄に關し  
 て尤も實際的の智識を備へずして、漫に他を勸奨するとは出来ないといふ考から、  
 予は昨年初春彼地に渡り、事情若し可ならば將來日本人の一大植民地も開けやう、さ  
 れば又た自分は自分の天職と信する所を以て其爲に犬馬の勞をも致して見たいとの希  
 望で、爾來此頃まで實查を遂げ經營の傍、テキサス州中を巡見旅行すること無慮四五  
 千哩、而して其事業の現在將來ともに、苟も相當の資格と設備ある人の爲には極めて

欠

MISSING

だのいふ小都會がある、この邊は已に米作地帯であつて、田圃も善く開けて居る、特にイギリスレーキは米作地中の米作地と稱せらるゝ丈けに町も可なりに繁昌し、其附近からヒューストンに至るの間、鐵道の兩側此所彼所に點々として小さな木造小家の細い煙筒が突出で、居て夏ならば晝夜絶えず煙を揚げて居る、これは米田灌溉井戸の瀧關室であつて、その周圍には必ず百エーカー乃至二百エーカーづゝの稻田がある。大体の眺望は只もう一面に茫々たる平地であつて、恰も人工を以て均らした如く肉眼を以ては逆も何十里の間にも高低を見出すことが出来ぬ、而してまた人工を以て故らに芝を植ゑた如く青々として肥ゆる且つ短き草が生じて居るのみで、雜木一本野中に立て居るものもない、實に日本人の眼には不思議なほどの大平地であつて、トヒ農業に素養なきものでも、嗚呼此大平原を此儘に打捨て置くとは惜しいものだといふ感念を起さざるを得ない、松平男爵が支那の揚子江沿岸の外には斯様な坦かな大平原を見たことがない實に世界無双の米作適當地だと言はれたのは至言である。

(二) 平原の風致

かゝる大平原であるから未だ見ぬ人は景色などは囁々單調一律無趣味没風流なものだらうと思ふであらうが其所がまた化工の爲は不思議なものでこの平原の單調を破るために近きは二三里遠きも五六里毎に、恰も人工をもつて植付けた如くに、極めて細く長く松や榊の密林が黒々と茂て居る、是等の木は我國の松や榊と少しも變らざるの趣は丁度城下馬場先の遠景を見るやうである、而してその並木を通り越せば次はまた元の通りの平原、其遙か向ふにはまた前の如き林があるといふ工合に、その配置の規則正しきとは驚くばかりであつて、自分はあちらの人に向て是等の樹木は何時頃植付たのですかと問ふたら、年代は誰にも分りません、この邊にまた人間が來ない前から在たので、造物主の細工ですと答へられたが容易には信ぜられない位であつた、併し能く考へて見れば如何にも自然生に違ひない、人口稠密して薪や用材に困るといふではなし、田圃の爲に風除けの必用があるではなし、誰が好奇に金を投じて斯様な並木杯をこしらへるものか、さてこれを自然生とすれば如何なる自然の作用でかゝるものが出來たのであらうか、この疑問の解けたのは後日此邊の地史を知りまたるれより

北の方中部テキサスの森林帶高地に行つた後のとであつた

米作地帯を北に離れて七八十哩も行くと地勢は次第に高くなり一面底知れぬ森林であつてその中を鐵道が幾條も貫通して居る、此邊の風景は沿岸地方のとは全く違つて丘陵起伏波の如く、その上は透き間もなく重に松、榊、榊、榊、檜、檜、檜、秦皮等又菩提樹、樺、桑なども交つた天然の密林を以て蓋はれ、日本でも容易に見られぬ様な絶景の所もある、此林がまたテキサス大富源の一であつて、材木製造の業は此邊の主なる産業で、所々に大仕掛な鋸截場が建て居る、斯くして次第に樹林を伐り開いては菓園や菜園をこしらへて居るのであるが開けた所はまた九牛の一毛で全州面積の百分の二十四は樹で掩はれ松などは大きなものから選り伐りするのであるが四年目にして又新しいのが採伐期に達する、而して此高地が即ち古のメキシコ灣岸で、波は曾て此邊まで洗ふて居つた時代がある、然るに其頃のメキシコ灣は極めて遠淺のものであつたと見えて、次第に水が退くと共に其遠淺の海底が露出してさてこそ今の如き大平原が現れた、すると勢以後の高地から雨水が其平原の面に流れ出す、流れ出す雨水が樹木



の實を持て来る、それが止つて發生したものが即ち今の並木である、故に並木の中心には大概細い水流がある、之をクリーキといふ、このクリーキの大きなもので且つ潮水の溯る處のない所の水は堰き止められて米田の灌溉に用ゐられて居る

以上がザット米作地帯の風致であつて、同地帯中は何處へ行ても同じことだ、即ち同地方の平坦なのは人が均らしたのでなく、太古の世に水に均らされたのである、併し現今では充分の海拔を有して高い所は二百尺もある、それが次第に一哩に付き一尺位づゝの勾配を以て海に達し大体上排水の便を爲して居る、これがまた米作上の便宜である。

米作地帯の今一つの特色は石の無いことである、地所の見分杯に出掛けて、道路も無い草原を馬車で縦横自在に乗り廻つても、小石一つ轍に觸れるものもない、故に此邊の馬匹には蹄鐵を要さないのである

(二) ヒューストン市

この市はテキサス州南部の最大都會であつて、鐵道は四通八達、十一會社の瀛車が茲

に輻輳する、テキサスにしては中々繁昌な所で、人口は四萬四千しか無いけれども亞米利加のとであるから可なり大きな町を爲して居て、市街電車もあれば立派なホテルもあり、石造の大建築物もあり、あらゆる文明の設備は凡て備つて居る、且つその進歩の著しいとは非常な速度で四方へ擴張され日々新しい家作が幾つとなく出来る、此市が米作者の爲に事務の中心で、土地を買ふにも農具家具機械食料を仕入れるにも銀行取引儲は農産の販賣も倉庫會社も何もかも此一市で調ふのであつて、何のことはないテキサス南部の大版だ、新移住者は先づ取敢へず此の市に滞在して諸般の準備に取掛らねばならぬ

第四、 起業の準備

(一) 土地の選定

起業準備に於て第一に必要なは土地の選定であつて、この選定の巧拙は即ち事業成敗の分るゝ所であるから極めて慎重の態度を取らねばならぬ、さて如何なる順序に由

て土地を買収するか、既に若干の日本人が移住して米作を爲し、其中著しく成功をした人もあるのだから、直に其人に頼で、その附近の土地を買ふて開發するにせよ、それで間違はないかといふに、左様容易の談にはおかぬ、なるほど今日彼地に在る日本人は皆夫れ／＼苦心をして彼の廣い所で撰定をしたのではあるが、遺憾ながら未だ最上の部分を選んで居るとは申されない、これは其本人等も認めて居るとである、見渡す所前に申した様な太平洋であるから何れの部分も差して優劣がないかといふに中々左様はゆかない、勿論土壤の點に於ては大略同一ではあるが、いよ／＼資金を投じて事業を起すといふことになつて見ると、部分々々が／＼／＼經濟的の事情を異にして居るから、單に土の質を檢分して輕卒に極める譯には行かない依て後進者の參考の爲に、土地撰定の最大要件を心付くまゝ列擧して見れば左の如くである。

(一)土質　これは大略二種に分れ砂地と粘土地である、砂地のうちにも白色な所と赤い所と黒み掛つた所とがある、黒み掛つた所が最良と認められ、白色の所は劣等である、尤も砂地と言ふても荒い砂ではない實に微細なニコ地であるから肥料分は

充分に含まれて居る、粘土地の所は概して黒色であつて地方は砂地よりは強いがその代り仕事仕にくい、此兩種は人々の好みに委せる外はない

(二)床土　幾ら土地がよくても床土があつて水を保つて呉れなくては、米作には適せない、然るに幸などには、米作地帯を通じて大庭土地が一尺五寸乃至三尺位あつて、其次の層はまことに強固な床土を六七尺も有して居るからこの點は心配はない

(三)澆水の便　米作に要する水は如何にして得るかといふにその方法は數千エーカーもある大仕掛の米作ならば、河水を汲み上げ溝渠を造つて澆灌することもよいが、百エーカーや二百エーカーの米作ならば各自に井戸を掘つて水を得ねばならぬ、而してこの地下の水量は該地方の特色として濶くばかりの多量であるが、但た其地面からの距離即ち深淺といふものが、部分に由て實に非常の差違があり、淺き所は日本風の手掘りの井戸で三四十尺も行けば百エーカー位の水が充分に得られる所もあるが、また所としては鐵管を用ひる掘抜井戸で千尺も掘らなければ水の出ぬ所もある斯様な場所では井戸丈の爲に金の三四千弗も費へるから心してゐる所は避けなけ

ればならぬ、故に小仕掛けの人は此の淺井地方を選まねばならぬ、併し幸に凡  
其地域が定まつて居るから選定に困難はない

(四) 灌漑用の水質に有害成分を含まざることを

(五) 飲用の良水を容易に得らるゝことを(此ことは後章更に説明すべし)

(六) 排水 作米には澆水の必要なると共に亦た排水の必要がある、即ち最早不用の  
期時とならば速に水を田面から去らせなければならぬ、これは日本に於ても同じと  
だが、況んや大農法を以て、非常な重量の農具を車什懸けで引き廻す彼地の米作に  
於ては妨入時に田面が相當に堅まつて居らないでは仕事が出来ぬ、故に最初土地の  
撰定に當つて、餘り低濕しにて水引きのよくない所は忌むのである

(七) 運搬の便 折角米が出来ても之を市場へ持ち出すに困難する様では致方がない  
是に於てか鐵道線路に近きと、特に停車場に近きとが、土地撰定の一大要件となつ  
て来る、著しく收穫時の運賃に關係するのみならず、停車場に近ければ收穫時の降  
雨の爲に畑を田で濡らす憂が少い、斯る關係があるからして、此邊近は大に土地の

價値に影響をするのは止を得ざる次第である

(八) 附近の人口

其附近に相當の人口あると、特に米作者のあるともまた必要であ  
る、何處も同じ農業は收穫時に於て臨時に人手を要する、此人手をは年中用もない  
時に貯へて置くとは出来ぬ、其時々には雇はねばならぬ、故に多少の人間が附近に住  
で居ることが大切だ、況んや稻コキ器械の如き高價なるものは、小仕掛けの人ならば他  
から賃借せねばならぬ、故に全く米作者のない所ではこれにも困る

(九) 所有權の最明瞭にして後日他より苦情の生ずる恐なきこと  
以上九個條の要件を標準として、之に協た場所なれば、地代位は少々高價でも不便劣  
等にして廉價なる所よりは優るのである、何となれば彼國の米作業では土地代金の如  
きはまことに小さい要素であるから

(二) 土地の代金

テキサスの土地は迄代價に差違のある所はない、これは日本でも左様ではあるが、彼  
國では特に甚い、大きな都會に近い處は別として先づ同じ平坦な、米の出来さうな處

女地でも、一エーカーにつき五弗乃至二十五弗時としては三十弗もする所がある、若しカナルなり井戸なりで水の設備が付て居る所ならば到底四十弗以下では買へぬが、その差違は矢張前に列挙した要件に由て分るのである、善い所は高い安い所は不便を道れない、併しまた夫れは買ひ方にもより、所有主直接に仲買人の手を経るとに由ても多少は違ひ、特に二千なり三千エーカーなりの纏まつた土地をソックリ買ふのと百や二百の切り賣をさせるの事に由ても著しく違ふ、中には善い地所になると切り賣り扱を賣と斷然せぬ者もある、その間を潜りて、二百や三百の地所を而かもこちらの理想に協つた所で相當の代價で手に入れるとはこれが一寸骨の折れる仕事なのだ、特に日本から新來で事情に明くない人には尙ほ更ら困難であるが決して不可能事でない、略右の理想に適つた所でも今日は一エーカーに付凡そ二十弗ならば買ひ得られる

(三) 土地代金の拂方

斯事業に志のある人々は最早知て居るであらうが、念の爲め年賦拂の方法を説明せん、つまり此方法は買方にも便利になり、賣方に於てもそれ相當の方法があつて必

しも三年賦ならば三年間現金が手に入らぬといふ譯ではない、假に一エーカー二十弗の地を百エーカー買ふて四分の一は現金、残額は三ヶ年間に一年に六朱づゝの利を附して割濟のとすれば買主は現金五百弗と外に五百弗の手形三枚を賣主に渡してそれと引き替に地所の名義切替を爲しそれと同時に所有権は買主に移る、而して賣主の方では此手形を銀行なり個人なりに賣る、手形の買主は其手形の明文に隨て、年六朱利附きの貸金を其土地に對して爲した姿で、即ち其土地は一千五百弗を三ヶ年に分濟する約束で買主から他へ抵當に入れたのと同一な道理になる故に如何程金の入用な男でも容易に地代金の年賦拂を承諾するのである

(四) 土地仲買人のこと

ヒューストンのみならず何れの町にも必ず土地仲買人がある、ヒューストンの如き所には特に多數である、それらの中には彼方の言語で土地の較(ランドシャーク)と稱せられ随分如何はしい者もあるが、また立派な金持で自分も多くの土地を有してそれを賣りつゝ他の土地をも仲買するを營業として居る者もあり或は會社組織で之を行つて居る

者もある、而してこの土地仲買人は何れも皆なうれ／＼の部分に自己關係の地面を有て居る、土地所有主に於ても亦世間に其土地を紹介せねば賣るとは出來ず、賣れなければ何時までもその地が開發せられずして収入もなく徒らに租税を拂ふのみであるから、皆夫れ／＼知合の仲買人に賣却を委託して置く、仲買人は原價の上に幾分のコミッションを取て之を賣り捌かうと勉強する、斯る有様で土地仲買はテキサスでは中々盛な商賣で、土地は一種の商品に過ぎない而して此等の仲買人等は皆夫れ／＼自己の關係地を通過する鐵道會社と特約して其鐵道會社の移民委員といふ資格を以て居る故に此者等が客を案内して土地を見せに行くには自分も客も瀛車賃はいらぬことなつて居る、故に土地を見やうと思へば仲買人に頼みさへすれば幾らでも瀛車賃無しに旅行が出来る、併し實際買ふ氣もなく漫に彼等に案内をさせるとは善くない、昨年あたりは大分日本人で此流を行つた人もあるが、これは沙汰の限である、併し仲買人の方ではマトヒ賣買が出來ずとも平氣なもので決して強ては勸めない、鐵道會社も亦土地廣告の爲に親切に案内をさせる、強て買ふとは勸めないが商賣上の掛引から互に自

己關係の土地を最上のものと吹聴して他の方面を悪くいふ、されば買人に定見がなく仲買人等の言に迷ひ始めたならば際限のないこととなる、故に此場合には充分自己の判断力を働かせて決定せねばならぬ

かゝる弊害はあるが併し乍らこの仲買人はテキサスの如き事情の地方では必要缺く可らざるの機關であつて、テキサスに土地仲買人あるは尙ほ大阪に木綿問屋や仲買人あると同一の理由である、若し土地仲買人が無かつたならば、アノ廣漠なるテキサスの地で賣手と買手とは容易に行き遇す何時體給の投合が出来るか知れはしない、然るに此面倒を除き賣買兩者の中間に立て之を幫助することを職業として公然營業税所得税までも納て従事して居るものが即ち土地仲買人であつて彼等が賣主から相當の範圍に於て取るコミッションは公然裁判所へ訴ふる權利さへあるものだ、中には金のある仲買人は豫め某々の地に對して幾分の入金をしてその賣買權を握て居るものが多い此權をオプションといふ、一たび此オプションを握つた以上は、所有主と雖も決して其權利ある人を差置て他へ賣るとは出來ないのである、而して米作地中の目星しい部

分は今は大抵此オプションの爲に縛られて居るから眞の地主から直接談判で買ふとは實際六ヶしいとせねばならぬ、尙且つ仲買人の取るコミッションは決して賣買代價の外に買主へ一錢も請求するのではない、皆賣主の負擔に屬するのであるから何も恐るゝとはない、高しと思へば無慮違に値切て見ればよいのだ、故にラキサスでは土地を發見するに敢て骨は折れぬ寧ろ土地を選擇するに骨が折れるのである

(五) 賣買の條件

土地代金拂渡しのときは前に述べた通り、通例は四分の一現金、残りは三ヶ年賦であるが、これは當方の都合次第で利子へ出せば或は五年賦にも出来る、また四ヶ年賦として置て、次の一年は掘置き翌々年から拂ひ始めるといふ契約も出来るが代金拂方の外に別に水の保證といふ一條件がある、即ち掘抜井戸の地方ならば三百尺とか五百尺とか、また淺水地方ならば四十尺とか五十尺とかで水が出るゝ賣主はいふ、然らば必ずそれで充分の水が出るゝと保證するかと云へば、保證する者もある、保證をした場合には先づ井戸を掘て見て米を植て萬一水の不足の爲に米作不結果の時には相當の損

害を賣地主から賠償して尙ほ其賣約を取消すといふ契約を結ぶとも出来る、中には井戸の設備も住家も農具も馬も皆一切賣地主の金で整へて米作者は只だ勞力と食料丈けで住み込んで、其總金高を三年なり五年なりの年賦契約にする場合もある、此方法は起業者の爲に一見甚だ便利な様であるが、併し乍ら事の實際に於ては無暗に條件の善い賣地は必ず曲物である、曲物でなくとも未試驗地である即ち水の深淺未定の爲に人が其地に住み込まない、隨て其地が賣れぬ、故に地主は何うかして一組の移住者でも住み込ませて若し成功をすれば隨て其後から来る移住者は同一の所に定住することとなるから、自己の地所全体に價値を生ずる故に數千エーカー一枚の地の中で百とか二百とかを非常に容易な條件で不取敢住み込ませて、言はゞ其一組を試験の犠牲に供し廣告の看板にすることがある、勿論此種の地所でも決して悪い所のみではないが、先々危険なりと言はねばならぬ、水量未定の地に米を植え付けタトヒ百エーカーにしても營農資金は七八百弗も要する、若し夫れで不結果の時には地主から損害を取れるとしても其面倒が一通りのとでない故に餘り條件の善いのに惚れて飛た所へ住み込

めば後日大に迷惑をせねばならぬと成る、已に昨年あたりも日本人で此手に掛つて自分は文無しで巧くやらうとして却て失敗をした例もある、若し又た其附近に充分の水を得て盛に米作を行て居る様な所では最早水に就て試験の時代は過ぎて居るから地主も中々正當の賣買でなくては手放さない其代り斯る所は見込充分である、後の起業者は返すくも此點に深く注意をして土地の選擇を爲さねばならぬ

(六) 賣買の締結

土地の選擇が済んでいよく某々の場所を買ふと成らば、一通り測量をして其面積を確め、然る後に三十弗なり五十弗なり手金を渡して賣主から登記謄本を受取て十日とか二十日とかの期限を定めて置て、その謄本を自己の信認する辯護士に托して檢閲してもらふ、この謄本の表には其土地の權利の所在は尤も明白になつて居る、若しまた不明の點があれば辯護士は賣主に命じて修正せしめる、而して辯護士の満足する様に修正し能はざる時には手金は買主へ返金せしむる、尤も買主の方から他の原因で違約すれば手金は沒收せらる、其爲に通例此手金は銀行へ供托して置くのである、尤も辯

護士は職責と名譽と重じて事務を取るものであるから辯護士が善しといへば安心して賣買を締結して宜しい辯護士の此謝儀は謄本の長短にもよるが、通例は一件に付二十五弗位である、尙又賣渡證書には賣主が有妻者ならば必ず妻君にも連署せしめて置かねばならぬ

(七) 鐵道會社と土地と移住者

土地仲買人は本職のとだから勿論として、其他に土地の賣買、移住者招來のことに熱心盡力する者は各鐵道會社である、テキサスのみならず凡て新しい國では鐵道の利益は一に其線路に沿うた土地の開けるに由て増進するのであるから、各社とも皆競うて自己の線路に關係ある土地の開発を希ひ、自線の勢力範圍内に一人でも多く住民を増やうとして非常の盡力をするので、あちらの鐵道會社の支配人の重なる仕事はそれである、隨て何れの會社も前に言つた通り其所屬土地仲買人を有して居ると同時に、會社の事務所内にも亦高給を拂ふて土地及び移住民係りといふ役員を備へて、盛に運動をさせ視察者が行けば其係員をして自線内を案内せしめる、尤も會社に由て多少其の遣り

方は違ふが就中最も大ききまた尤も多く此方面に金を費し力を用ふるものは南太平洋鐵道會社であつて、日本からの視察者杯は、皆此會社に大に世話を掛けて案内を受けるのである、故にテキサスに行く人は先づヒューストン市の南太平洋鐵道會社に行つて、其總支配人テ、マエー、アンダソンといふ人に面會して色々勝手を聞くが宜しい、中々親切に世話をして呉れるものだ、併し無暗と此人に對し依頼心を抱きて詰らぬことを頼んではならぬ、只起業上の相談相手にするまでのことだ、米國人は徹頭徹尾實業主義である、情實的に頼み込で格外に甘いことをさせて貰はうした所がそれだ、底眼目である、さて右の通りにて土地の選定が終るとそれからいよいよ起業に着手する順序となるのであるが、これからの順序について詳しく御話をしたいと思ふ

### 第五、 着手の順序

事業着手の順序となると、起業者の規模の大小と組織の方法とに由て、自ら異らざるを得ない、即ち大資本家の獨力若くは會社組織で數千エーカーの作業を行ふか、或は

中産自營的人が百なり二百エーカーなりを自分一己の永久事業として行ふかの二つであるが、この後者の方にも亦二通りある即ち自ら資本を有した農事の經驗もあり其勞働にも堪へるといふ人が自分の外に助手の二人も率ひて行くといふのは正則の遣方で尤も健全な方法であるが、また一方には金は有て行くが自ら勞働には堪へず且つ日本から助手をも連れずして、一切彼地で白人の勞働者を雇ひ凡ての仕事を彼等に受負はせて收支差引の利を占めやうといふ遣方もある、この最後に言た方法でも矢張り益は相當にある、幾ら少く見積つても一切の經營生活費を引き去て尙ほ投資高に對する二割五分乃至三割には確に當る、この上自ら勞働をすれば一ケ年少くとも六百弗位な勞働賃金が自己の懐に這入つて來るのである、而して右の區別中で最初に言た大仕掛けの遣方は經濟上から言ふと割合がよい、何とならば土地代金、農具、馬匹、井戸等の設備上割合に節約することが出来る、併し斯ういふ大仕掛けで行く人は我國の現狀では極めて少いことを察するから、最も多數でありうな小仕掛けの中の二種即ち自家勞働でやるか、一切他人に勞力を受負はせて行ふかの二つに由て、着手の順序上何が



違ふかと言へば、前者ならば農具馬匹を買はねばならず、後者ならば之を買ふに及ばぬとの差違であるが、茲には尤も健全な道方即ち自家労働の種類を標準としてお話致さう

(一) 井戸の設備

何よりも先立つものは水である、即ち井戸掘である、水量が確でなくては米は植ゑられぬ、而して井戸には掘抜井戸と浅井戸との二種類あるが、深い掘抜井戸は經驗上自分分は嫌ひであるから、浅井戸の地方を撰びとして、通例水層迄が三十尺水層以下が二十尺、水層以上は凡そ一間半幅に二間位を長方形、水層以下は丸い形に掘る、而して水底の方には泥の侵入を防ぐ爲にスクリーンといふて、水は通すが、石や荒砂は通ぬといふ工夫に出来た金屬製の棒を沈める、かくして井戸底の四周の水を引くのである、左様な必用物は夫れく其向きの商人から買ひ入れる、井戸掘の労力もタトヒ自分等が手傳ふとしても肝腎な仕事は本職人に受負はせる、受負賃は通例一尺に付て一弗半であるから五十尺掘ても七十五弗で済む、水層以上は矢張木製の井戸棒を入れる

井戸掘が済むと次にセントリフイガルポンプといふものを仕掛け、井戸の傍に通常二十馬力位の蒸氣機を据付け帶草を以てポンプに聯結し、ポンプの口から木製の樋を付けて、瀛關の運轉を始めると、水は樋に接續されたパイプの口から二尺位の高さに跳ね上つては樋から流れて行く、中々壯觀なものである、そして其水量が一分時間に六百ガロンといふ測定が付けば夫れで成功したもので、井戸の設備費は蒸氣機關を別にしてポンプ草帶等一切で三百弗乃至五百弗はかゝる、斯様な井戸一つで百エーカーの米田は如何なる早天でも差支なく養はれるのである  
蒸氣機關を大別すれば、一旦据ゑ付けたならば動かされぬものと、移轉して他の用途にも用ゑるとの出来るのである、据付のままのものならば凡五百弗、移轉の利くものならば先づ一千二百弗位、其形式もフエヤーハンクス、ケース、アドヴァンス、パファローピッツ等種々あるが、通常フエヤーハンクスが多く用ゑられる様だ、併し斯様なものは日々に進歩して絶えず新式が現れるから、最新最便のものを撰定するが宜しい、瀛關運轉の燃料はガスリン、石油、薪また電氣仕掛のものもある、若し其田地が前に述べた

機な森林に近い處ならば、其森林の一部を立木のまゝ若くは地所ぐるみ買ひ入れて、冬の間自ら伐木して置けば、勞力の高い國だけに甚だ安價に就く、若しまた薪を遠くから買入れねばならぬ處ならば、擊るガスリンカ石油を燃す方が安價である

(二) 住宅

井戸が出来れば最早他に顧慮するところないから、ドン／＼進行するとして、次は住宅の建築、これは本人の好み次第で經費の違ふとは勿論であるが、通例は日本疊の十二枚敷位な部屋二つに入疊の應接所に、料理部屋に厩に便所である、用材は一切松で木質は中々上等だ、勿論壁も皆板張りである、この板張りの板を縦に張るか横に張るかで大に經費が違ふ即ち横張の方が高いが、るれにしても家厩便所ども一切で五百弗掛ければ立派なものが出来、縦張で我慢すればその半額で済む、中の家具等の設備は管々しいから御免を蒙て置くが家具一切で百弗も費せば一通りは揃うのである。但し家は東南向に建て、風通りをよくせねばならぬ

(四) 馬

農用殊に米作用の馬は、ミニールとて馬と驢馬との間の子的動物を用ゐる、これは馬族中最も能く勞苦に堪へ、粗食に甘じ、而かも強健なる種類であつて、敏捷な業は不得意だが、急がずして而かも大力を要する仕事には是非これ無くては間に合ぬ、代價は若い丈夫なものならば一頭百五十弗以下百弗位である、百弗以内のものは米田の荒仕事には間に合はぬ、これは矢張伯樂からも素人からも買へるが、其健不健老壯等の鑑定は一に買手の目利に由るの外はない、年齢は五歳以上七八歳が尤も買ひ時で、生きたるとは二十年も生きる、十五歳位までは手入次第で荒仕事にも使用される、而して其数は是非四頭は入用だ。ミニールの外に乘用馬一頭を要する、あの廣い處でテク／＼歩いて居ては何も出来ぬ、一寸隣家へ行くにも田を視廻るにも一切馬上でなくてはならぬ、乘馬の代金は先づ先づ五十弗位な品物で宜しからう

(四) 農具

農具として差向ふ必要なものはサルキンプラツといふ鋤が二組この代金七十弗、次にデスクハローといふ土割具が二組この代金六十弗、次にスローピングハローといふ地均

し器が二組この代金三十弗、次にドリルシーダーといふ播種器が一組此代金七十弗、次にバインダーといふ蒔取兼稲束ね器械が一組此代金百三十五弗其他シヨヘルとか鋤とか雑具一式此代金約十弗外に農用荷車一臺が六十弗、馬具二組と乗用鞍とで三十五弗、若し夫れ充分のと言へば二人乗の軽き馬車一臺此代金馬具ともで約七十弗である、これで先々必需品が揃ふたと申しても宜しい、尤も右の外にスレシヤーとて稲コキ兼唐箕用の大きな器械一臺は入用であるが、これは七八百弗もかゝるからして一百エーカー位な小農には特に買ひ入れる必要はない、臨時に借料若くは手間賃で雇ひ入れるとが出来る尙ほその仕事ぶりの詳細は後で述べるとしやう。

(五) 結 柵

柵、彼方の言語でメンエンといふ、其方法は、前に述べた森林から通常一尺五寸周り位の柵を伐り出し、高さ一丈位な柱となして先を尖らせ、三間毎に一本位づゝ田地の四周に打ち建て、夫れへ鐵針金の二筋よりなつて一尺五寸毎に結び目があつて、其結目から既い二寸ばかりの角の出で居るものを上下四筋、一尺五寸透き位にかすがひ釘

で張り附けるのである何の爲かといへば原野の中に自由自在に且つ無數に放飼せられて居る牛が米田に侵入するのを防ぐためだこの結柵の費用は百エーカーに對して凡る百弗を要する、但し自分で柱を伐り出し打ち建てれば針金代だけで済むから略六十弗でよろしい

第六、 作 業

(一) 田面の鋤き起し

日本の人はテキサスの米田は開闢以來の新開地だと聞て夫れでは開墾に嚙骨が折れるだらうと言ふが、事實は全く之に反し、前に述べた通りな軟な芝地であるから之を開くに何の造作もない、只前に言つたサルキンプラツといふ鋤器を用ゐ、四頭乃至六頭のミニールを之に付けて自分は其器械の上に乗て草の手綱で馬を御して三寸五分位な深さに鋤き起せば夫れでよいのだ、この仕事は土質に由て遅速はあるが、先づ一日に三乃至五エーカーの掛は行く、故に百エーカーの地所ならば休日と雨天を除いて先づ一

夕月乃至四十日を要する、之を馬、器械とも一切雇入れて他人に受負はすれば一エーカーに對して、土質の軟硬により一弗半乃至二弗半の賃金である、自分ですればそれだけの働代を得る譯だ

(二) 地均らし及び播種

荒鋤をした後にその働代として、つまり最上面の鋤き返された土が大なる塊となつて狼藉として居る其大きな鋤切の上をデスクハローといふ器械をば矢張馬に曳かせて一通り行き渡らせば、其器械に附屬せる鋭い鐵車の刃の爲に土塊は切り碎かれて細くなる、その次にソザエルハローといふものを用ひて、更に田面を引きつり廻せば土はいよく細かくなつて丁度播種に適する様になる、この二回の地均しに要する日子は百エーカーに對して正味十五日間位である、一切を雇入れてやらすれば一エーカーに付て一弗位だ。

次には播種だがこれはシーダーと稱して長方形の木箱を乗せた器械を用ひ、種を其箱中に入れてよろゝ馬に曳かせると、其下部には自づと土を掬ふて種にかぶせるとい

ふ器用な働をするものが附て居つて、規則正しく線を爲して地上に落ちた種は忽ち土を被て仕舞ふのである此仕事は一日に五六エーカーだから、先々百エーカーに付て二十日間と見ねばならぬ

(三) 畦造り

播種の前に測量師を雇うて地面の高低を測り、凡そ四寸勾配を標準として田面を數枚に區切りをつける、その區畫の形即ち畦の線は、地面の高低に隨て附るのであるから時としては甚しく屈曲したものが出来る、即ち長短廣狹甚だ不規則な區畫が出来る、此測量は甚肝腎であつて即ち一區中の勾配が四寸以上に出来ては一端と一端と水の深淺甚しく相違し、甲の端が水に浸されても乙の端が乾て居るとか、乙の端へ水を行き渡らうとすれば甲の端が水を多く被り過ぎるといふ不都合が出来て、大に收穫に影響するから、返す返すも四寸勾配法を嚴守せねばならぬ

かくして測量師が畦線の目標を建てたのに隨て、今度はギヤンツフラウといふものを用ひて、堂々と六頭馬を追ひ行くと、地面はそのフラウの幅に隨て二尺位な溝を

形成り、其掘り起された土は一方へ規則正しく投げ遣られて、小さな堤を自ら成形する、この方法で往復二回やるときは、ろれで通水用の溝と畦畔とが一挙兩得に出来るのである、勿論播種の後には斯る仕事をすると馬や器械の通る部分の種は踏み附けられて發生しないは當然だが、其所は大農法の大農法たる所で、斯る些細なことには頓着せぬのである、畦造りの仕事は百エーカーに對し凡そ五日間で來出する

(四) 種 米

日本から新渡航の人は是非共精選した種米を携へて行くが宜しい、彼方の米作では種を非常に吟味する、否な百姓が良種を得るとに苦心をする、故に日本なり南米なりから絶えず種米を輸入して、最初一年造つた粳と次年の種には使ふが、三年目の粳は斷然種には使用しないと居る、その理由は、何ういふものか彼方の米田では、動もすると米が悪化して赤色を帯びたものが出来る、勿論日本にも多少はあるさうだが、彼方では特にその害が甚しい、而してかく赤米の交つたものは市場に於て甚だ直段が安い、故に赤米を澤山作つては米作は收支引き合はぬとなる、そこで良種々々

と尋ね求めて、高價な種を買ふても、時には種商人に欺かれて不良の粳を買はせられ收穫の結果困難をするものがある、かゝる次第だから日本から直輸の種を注意して赤米なく作り上げた粳は必ず種米として、少くとも通常米の半倍は高く賣れる、マトヒ然らずとも精米用に賣ても價が高いのである、彼方で種を買ふとすると日本直輸の良種ならば粳百六十二斤入り一俵につき七弗半から八弗半、一年彼方で造つたものはドメスタツクシーヤと言つて、其直段は買方に廻れば、先づ一俵四弗であらう、凡そ二と二との差があるとして、直輸種で作つた粳は通例米の半倍以上に賣れるから其利益の差は大きなものである、然らば何程種米を用意するが必要かとならば一百エーカーに對して百六十二斤入の粳が三十五俵と見ればよい、此一俵即ち日本の價目で十九貫四百四十匁の原價何程といふことは讀者は直ぐに知るであらう、俵は俗に言ふ支那米袋を買つて、粳を三度ばかり唐箕で繰て詰め込んで縦横に繩を掛ければよい、運送一切の費用は少しばかりの荷物なら割合が高いが、二萬斤以上一繩となれば一俵に付積送料共神戸横濱よりヒューストン迄米金七十五仙、外に米國海關稅が百斤に付二十五仙で

宜しい、それで如何なる手元勘定になるか荷も實業家ならば立所に算盤が出であらう。チキヤスで造る米種は大別すれば二つである一は南米のポンドラス地方から輸入するポンドラスとて細長形(細長)の米と一は日本種である、偕て日本種の種類は何がよいか今までの實験上では神力(神力)が尤も好成績である、少々米質は劣るが收穫が多い、其他長州産の白玉とか山城とか種々行ては居るが、要するに稻の腰の強ひ種類を撰むとが肝腎である、運賃の都合もあるから自家用の分に餘分の粉種を持って行て、不用の分は商品として賣ることが出来る、ヒューストンには倉庫會社もある、倉敷料は一袋に付最初一ヶ月が保険料とも米金五仙、次の月からは三仙である、倉敷券を以て銀行で金を借るとも出来る、利息は年八米位である

(五) 稻の發生と澆水

播種後稻が發生してから都合よく細雨でも降れば凡そ十日左なくば十四五日目になると、稻は五寸乃至六寸位に長する、尤も雜草も同じく生する、否稻よりは草の方が却て勢よく生長して一時は稻を壓倒するやうな威勢であるが、夫れは驚くにも恐るゝに

も足りない、農夫は泰然として、澆水の準備を爲し蒸氣の力によつて水を井戸から汲み上げて、靜に田面に澆ぎかける、勿論最初の間は取て一時に多量の水を田面に澆むるには及げない夫れよりは一時も早く全体に水を行き渡らせるとを要する、かくして水を送り田面次第に水を得るに隨て稻は従前に比し二倍三倍の速度を以て生長するが雜草はこれに反して一日く凋落し四五日目には世界は全く稻のものとなつて、青々、纒々、最早豐年の瑞相歴然たる有様となる、さて此所まで來れば後は只管澆水と畦の見巡りと水先見張の外何の用事もないから白人の農夫等は蒸氣機關は技師に托せ、水先見張は黒奴の雇人などをさせて己れは馬に乗て監督するか、時には鐵砲や釣竿を携へて鳥や魚を取りに出掛けるのである

澆水の時期は凡そ九十日であるがその間に雨が降れば、其量に應じて三日とか五日とかは澆水の運轉を止めて、雨喜びの休みをするのだ、何となれば一日の澆水費用四弗乃至五弗づゝ助かるのであるから、而して斯る休日の數は、一に其年の雨量によると勿論だが、ヒューストン附近では一作中平均三十日は大丈夫である、時としては澆水の

日數よりは休日の方が多しともある左様な年には米作者の利益は更に多いのである

(六) 蒞取り及び稲こぎ

何處も同じく稲穂成熟の期は大抵百分量で見取ると出来る、これは日本人は誰でも知て居るから敢て説明を要せない、借てこの時期が来ると畦の要所々々を破つて田後の排水門から水を去らせる而して凡る二週間は田面を乾かせて土の堅まるを待つ、然る後に前に農具の目中に擧て置た蒞取り器械、あちらではツインハインダー、又はセルフハインダー、又はハーベスターと稱するものを馬四頭乃至六頭に曳かせて、田の片端から始め、最中央が最後に残る様な工合に蒞取り、且つ其器械の自動作用に由て蒞られた稲は凡る日本のご同じ位な束となつて、器械の通つた跡に倒れて居る、その束をば人足が拾ひ集めて凡る十束位づゝ積み重ねて行く、此蒞取りは一日凡る五エーカー乃至六エーカー達者なものは八乃至十エーカーもやる、尤も夫れは器械一臺の働き量であるから、若し雨の恐でもあるなら近隣から今一臺も雇ひ入れるがよい、稲を雨に濡らせば大に仕事が生悪いのみならず米質にも多少關係する

かくして蒞取りが捗取て居る間に一方では日本の唐箕の様な形で其十層倍もある様な稲こき器即ちスレッシュヤーといふものを用意出来て居るべき筈である、それは自己の有なれば何時にても差支ないが、若し雇入れるとなれば、豫め日を期して約束をして置かねばならぬ、このスレッシュヤーは何のことはない車仕掛けの大きな唐箕で而かも稲を束のままて食ひ込んで内部に於て粉だけをしごき取り、藁は前頭から煙出しの如くに突出して居る大きな筒から、恰も汽車が煙を吐く様な工合に、空中高く斜に藁を吐き出し瞬く間に前面に藁の小山を築いて仕舞ふ、而して粉は側面の口から、絶えずドロ／＼落ち来るのを袋の口を受けて之に充たすのである、この稲こきの爲に實地要する人足は汽關手一人、同助手一人、稲束を食はせる役が二人、荷車を以て稲束を集めて来るのが二臺で人が二人に馬四頭、稲束を拾うて荷車に載せる役が二人、袋を受けて粉を滿たせる役が一人、袋の口を繕ふ役が一人、粉の入た袋を積み重ねる役が一人、其粉袋を倉庫若くは停車場へ運ぶ荷車が馬二頭に人一人、總監督指揮者が一人、これだけは是非必要である、其仕事は一日に器械一臺で四百四十俵が定量であるから

百ニ一カーに付一千五百俵の收穫とすればザツと三日である、其費用は袋一個に付十  
 仙、稻ニキ質器械人夫一切にて一袋に付十二仙である、尤も器械と氣罐のみを雇ひ  
 入れて、他は凡て此方が働くとすれば、一袋分八仙乃至九仙で宜しい、かくの如くし  
 て首尾能く粉袋を自己の倉庫なり、會社の倉なりへ積み込めば、最早此方のものだ、  
 此上は唯だ賣却上の掛け引のみである

(七) 米の賣却

米を作るは言ふまでもなく金を作る爲である、故に縦ひ首尾よく收穫はしても之を賣  
 拂うて金を銀行に預け入れ通帳に記入させるまでは仕事が出来たとは申されない、  
 而して其賣方はと言へば、農家は初めまゝで精米會社へ送る、この精米會社といふも  
 のは該地方富豪の輩が組織して居るもので、本業たる精米業の外に金貸を兼ねまた米  
 の委託販賣業をも兼ねたものだ、そこで米作者と精米會社との間には色々込み入つた關  
 係もあり、八ヶ間しき問題もあるが、尤も普通に行はれる方法はトールシステムとい  
 ふことである、このトールシステムとは揚貨制度といふことで、米作者は收穫米を不取

取精米所に送ると、精米所は之を受取つて、百六十二斤入の一俵から百斤の白米を仕  
 揚げ、粉米と糠は精米所へ取る外に一俵に對し四十仙の揚貨を課する、而してその出  
 來上つた米をば、今度は精米所が仲人となつて市場へ賣り出し、一切の手間賃を引き  
 去つた殘額を米作者に拂ふのである、さて斯ういふて仕舞へば何でもない様なものだ  
 が、事の實際に於ては此間に甚だ組み入つた消息があるので、つまる所金に乏しい百  
 姓は、充分の強みを精米所に握られるのである、といふものは資金が潤澤でないで金  
 の入用が忙しい、故に取敢ず精米所から米を抵當として金を借りる、甚しきに至ては  
 收穫の費用をも前借すると、其の物品の權利は其金を食した精米所に握られて、且借  
 金の利息は嵩む外に揚貨を拂はねばならぬ、精米所の方では資金の回收揚貨の取り上  
 げを急ぐから強てでも米を賣らせる、隨て百姓は見すく安くて賣り放さねばなら  
 ぬといふ都合になつて来る、若し此時に米作者の懷中に餘裕があつて、安價ならば賣  
 らぬと持堪へることが出来れば其利益は少々でない、此所に至るとつまり實力の競争  
 で、金のある奴が仕て取るとなるのである、此點から見てもテキヤサスへは金を多く



持て行かねばならぬ、尤も近來は一方に於て精米會社の專横を防ぐ爲に、所々に倉庫會社が出来、金の融通の道も附く様になり、前途大に明るくなつて來た

### 第七、米作の收支豫算

#### (一) 豫算の基礎

農業上の豫算に於いて確定不動の律を示すとは甚困難な業であつて、今や斯業の主眼たる收支豫算の項に至て、轉た先導者として、責任の重きを感じざるを得ない、例へば其收穫高の如きも一エーカーに對し百六十二斤入の初が二十五袋取れるといふことも日本人米作者の立派な實例を擧げて之を證明する事が出来る、また八俵より取れる例も見付け出さうとせば稀にはあるのである、而して其積極消極何れに斷言をしても事實のある以上は嘘言だといふとは出来ぬ、また米の賣價の如きも種米用は別として普通の精米用に賣る場合でも、本年は收穫時に特に安かつたとした所で、矢張一袋三弗廿五仙で賣た人もあれば、二弗二十五仙、二弗、一弗五十仙甚しきは一弗位で

欠

MISSING

て居る田面でも米は曾て肥料を用ゐず而かも其産額は毫も減じない況やテキサズをやである、この點に關しては嘗に先方の人々のみならず日本の専門家も保證する所であるから安心して宜しい、中にも昨年日本から來た一老農の如きは彼地質中に天然肥料分の多量に含まれて居るのを見てこれでは五年位米を作つた後に今より更に良米が出来るであらうと言つた位だ

(三) 雜草及び作物變換の事

米田の雜草は水を入れれば枯死して仕舞ふ、それは陸草であるから取て怪むには足らぬ、併し乍ら其中一二種の草は矢張水中にも生活し得るものがあつて、稻と共に最後まで茂て居る、尙ほ又陸草も年を経るに隨て、幾分か水陸兩生の質に變じて來はせぬかと思はるゝ傾きもある、茲に於て自分も考へた専門家にも質して其贊成を得た一考案は作物變換の一事である、即ち四ヶ年目に一度位は米でない他の作物即ち砂糖とか玉蜀黍とか、畑的のものを植ゑて充分に草を除くの作法を施したならば、其翌年には地面は米に對して全く新たなるものとなり、草種も全く亡び、隨て萬一赤米の生

する傾向を來して居ても一年の干作物の爲に悪米の種子は悉く死んで仕舞ふことなる、これは地方の經濟上から言ても有利なことでもあり、又た彼地方の如く、年々に田の草を取らぬ作法では四年目に一度位作物變換の法に由て草種の大征伐を爲すとは大に策の得たものであらうと考へる

(四) 米作の時節

前に氣候の項に於て述べた通り、チキサスでは一年に六ヶ月間は夏の景であるとすれば米は一年に二作出來はせぬかと問ふ人があらう、それは如何にも出來る、第一作に早く掛つて置けばその儘蒔た後に更に水を灌いで、蒔株から出る新芽を生長せしめてこれを收穫すれば、一エーカーに付き六、七、八袋の米は得られるのである、併しながら一年に一作を爲すとは思つた程には容易でない、前に述べた如くの順序で第一作の爲に土地を整理するに、存外長き時間を要する、即ち第一次の鋤き起しと第二次の地均らしとを引續て爲すときは、何うも作業が思はしく行かぬ、荒働きは力めて冬の中に爲して、田面が一日鋤き起されたまゝで、播種前まで捨て置くときは、その間に草

の根が朽ちて土は軟くなり、甚だ碎け易くて都合がよい、若し然せずして荒働きも地均らしも播種も引續て行ふときは、草根生々しくして土は碎け難くハローの功用充分ならずして、爲に收穫にも關係すれば、米中に雜草が再生し易い、故に荒働きたけは可相成早手廻しにして置く必要がある、尤も播種は三月中旬から六月上旬までの間に何時しても差支はない、三月に播けば七月の終に收穫し、六月に播けば十月末の收穫となるが、仕事の掛りは前言通り十二月から着手すれば最も好都合である、殊に第二作を取る積ならば成るべく早蒔きを要する、シカシ斯の次第で第一作の爲に費す時間が存外長く直るのであるから、夫れに充分の餘裕と注意を拂ふこととし、蒔株から出た新芽の如きは米にせずして、青い儘で蒔取りて牧草にでもする方が宜しくはないか、勿論地方保存の爲には其方が得策でもあり、また第一作即ち本作で相當の收穫があれば、それで充分計算が立つのであるから何も左様焦つて二作までするに及ばない、先方の農民は夏の暑い間にセッセと働くのだから冬春の冷しい間に些とは遊んで身体を休めねばなりませんと言て居る、そこで冬日は稻の蒔られた跡に落ちこばれ

て居る糊を食はんとて大群を爲して降りて来る鴨を一發で十羽仕止めるなどいふ愉快な遊獵や乃至は海邊に出で、灣口に堆きほとに群る魚を漁るとか、若くは鐵砲を持って小川へ鵜狩に出掛けるとか色々氣樂なことに少くとも一二ヶ月は費すの餘裕を彼等は持て居るのである、そこで以上の順序から割り出して見ると、日本から新起業者の行く最良の時節は秋期九月の出渡とすれば充分である、尤一月に行っても間に合ぬとはないが、夫れより後れては其年の米作を爲すに甚忙はしい、但し起業前に實地の作業を見習ふとの考ならば春期に行くがよい、たゞそれから翌春までの間退屈をせぬ覺悟が肝要である

(五) 米作者の副産

前項作業の部に於て述べた通り、テキサスの米作は土地の準備期を加へて零七ヶ月間を要するのであるが、残る五ヶ月は何をして暮すのであるか、何か其間に土地を利用して副産物を生ずるの道は無きかと問ふ人が往々ある、これは尤も至極なことで、年々年中勤勉の習慣に養はれた我國の農夫から見れば、一年僅に一作の外残る時間を空

しく遊び暮すとは勿体ないとの精神は實に貴いものであつて、此の精神があつてこそ此小さい國で此大民衆を養ひ此大國家を支へて居るのであつて亦たテキサスに於ける日本人の殖民も此精神があつてこそ前途有望な譯である、そこで自分も彼方に居る間に色々此事に關して調査をもしたが、つまり田地に對してはカマシー、馬鈴薯等野菜物の秋作を早稻の跡へ造り、又た豚、鶏、家鴨、七面鳥等の家禽類を養ひ、又た米田の灌溉用水を利用して池を造りこれに魚を養ふも面白いと思ふ、これらは皆米作者の爲に好個の副産であつて、一は自家生活上の用に供し、又た之を市場に出して容易に金に替へることが出来る、就中カマシーや馬鈴薯、甘薯の如きは野菜中でも比較的大仕掛けに造り得るものもあり、又た米とは違て肥料を施すが故に、地肥の爲めにも極めて宜しいのである、尤も米田地方は自然平坦の田面であるに、野菜類は寧ろ聊高低斜傾のあるを要するものだからして、之を米田の跡に作るときは比較的耕作上餘計に骨が折れるとせねばならぬ、故に米田全部に之を植ゑるとは考へものであるが、自家の人數に照らして、充分に手の届きさうな丈の分量を植付ければ必ず成功疑ない

のであつて、成功した場合には一エーカーより百弗以上の實益を見るときもある、其の一人前耕作の面積は凡そ五エーカーであるから、縦ひ實益を一エーカー五十弗づゝとして一人に二百五十弗の純収入を得るとは容易であり、二人働けば五百弗、優に其一家一年中の生活費や雜費は之のみに依て得られるのである、其他鶏や家鴨は主人又は妻君の片手仕事として頗る適當なものであらうと考へる、但し米田の跡を野菜に利用せんと欲せば、力めて米を早く蒔て、八月の終には土地が已に間に合ふ様の手廻しをせねばならぬ、晩蒔きの米を蒔た後即ち十月以後ともならば野菜植付の期に晩の恐がある、縦ひ左なくとも、冬から春に亘る作物を爲すときは、翌年の米作準備期と衝突して大に不都合を來すであらう

尙ほ畑作専門のとに就ては大に説明を要するから、次項に於て之を述べるとしよう

(六) 渡航者の用意

渡航起業者が日本から持参するを要する品物は存外少いのであつて、生活上必須の道具は殆んど遺憾なく彼地で買ひ整へることが出来る、但し日頃愛重の器具や裝飾物があれば樂みの爲に持て行てもよい、又た日本風の大工道具一式は持て行けば重寶である筈もまた飯を煮るに日本流のものの方が味が善く出来るやうだ、其他日本種の野菜及び花卉花樹の種子、これは充分多種類を持参して、日用の爲め又た樂みの爲に試作をするが宜しからう、殊に新しく家を建た場合には尙ほ更ら花樹や常盤樹を其庭に植へて住宅の風致を添へねばならぬ、尤も先方には先方の樹木が澤山あるが、又た其間へ日本のものを植へるのも一興である、要するに植民の生活は可相成趣味を多くし快樂を多くして寂莫無聊望郷の念を萌さない様の工夫が肝心であるから、能く最初から其趣向を立て、行くが宜しからう

第九、米作業の現況と將來

(一) 米國人の需要米

亞米利加人が米を食はぬと考へるのは誤謬である、彼等は中々之を賞味する而かも日本人と同じく飯に煮て食ふのである、明治三十六年度の統計に徴して見ると合衆國中

の二ヶ年の米の消費高は三斗入り白米五百三十五萬袋であつて、其供給はテキサス、ルイジアナから四百五十萬袋、カロリナ及びフロリダから五十萬袋で差引不足の三十五萬袋といふものは日本其他から輸入して居るのである、翌三十七年度は前年に比して平均不作であるから更に輸入高が多くなるに相違ない、而して米の需要が年々歳々増加するのは同國人口繁殖の程度に照しても充分の見込があるが尙其外に尤も適切な一原因がある、それは外でもない米の商ひ方の改良である、彼國の通弊として兎角小賣の値段が高過ぎる、今現にヒューストンの卸賣屋で三斗入り白米一袋を三弗で買へる、然るに米國の北部東部否甚しきは同じテキサス州中でも所に由ては小賣値は三合(一斤)につき十仙で、二十五仙錢貨一つに付て三斤といふが通例である即ち一袋につき八弗三十三仙餘となる、縦ひ袋で買ても六弗五十仙位は要求する、而して米は概して中等以下即ち國民の大多數を得意とするものであるのに、百斤三弗の米を一斤十仙で小賣せられては逆も堪へ切れた話でない、彼國の人々に向て何故米をモット多く食はぬかと問て見ればドウも値が高くて常食には贅澤だから折々美味の一品として

用ゐて居ると斯ういふ、而して其値段の差違はと言へば勿論のこと商人が貪て居るのである、茲に於てか米作に利害關係を有するテキサスの鐵道會社や米作協會が此の不當の商習を打破する爲に今は必死となつて運動をして居る即ち大都會に米の販賣店を開くとか新聞紙の方で商人等の不當を鳴らして彼等の小賣値段を下げさして一般人の消費し易き様にし、隨て需要を増加することを力めて居る、此運動中々功を奏して追々小賣値が安くなり買手が増て來て北部東部への輸送が次第に盛になつて來た斯く一方に於て米價引下げ(尤もこれは米作者の利益を殺がすして、商人の暴利を控へしめて)の運動を盛にするると同時に他方に於ては米食の効能を一般に知らしめる爲に、或は聖路易の博覽會へテキサスルイジアナの公費を以て大きな米食料理店を開かせて米といふものを廣告し、又た日本兵の勇悍にして忍耐力あるは米食の効であるとして一般に米食を勧誘することを力めた結果、合衆國の陸軍部内でも兵士の主食を米にするとの議が持ち上る位の勢となり、元と合衆國海軍の艦隊長であつたマイルストといふ人の如きは此間此問題に關して態々英國へ遊説に出掛けたといふことさ勢である

加ふるに米國の衛生學者中には米國人の病氣の多數は肉を食ひ過ぎるより生ずるものなりとの説を唱へて、肉類を節して之れに代ふるに野菜的穀的の分子を多くせんどの運動をなすもの多く、而して其代用物としては米が尤も適當だとの説が輿論となつて來た、勿論人種の好みといふものを勸誘や議論だけで作るといふとは出來ないとしても、經濟上からして又た嗜好の上から言ても、彼等は決して米を好まぬ人種ではない。只だ前にも言つた通り從來は米を珍味の一種としてしか用ゐなかつた理由は小賣値が高過ぎたからである、此商ひ方の改良と矯弊が其功を奏して從來の珍物を不斷の常食中に加へるやうになれば、米の需要は忽ちにして五倍十倍に登るとは明である、隨て米の小賣値を下げて却て米作者の賣る値段が高くなるといふ理屈に達して來るのは自然の勢であるから、米作の前途は益多望といはねばならぬ。

(二) テキサス米と在米日本人

テキサス、ルイジアナの米作業前途の見込は右の通りとして茲に同州に於ける日本人の米作者の爲めには特に前途に大希望がある、といふものは我々は米國太平洋岸から

布哇へかけて少くも十五萬人の日本人と三十五萬人の支那人とを有して居る、而して此等は何れも米食者である、彼等の食するところの米は從來皆日本及び支那から輸入して居たが近年はテキサス米が之に代るととなつて來た、夫れも先頃までは米國人の米問屋に商權を握られて居たが近來は柔 港邊の日本商人に實力が出來て自ら之を販賣する様になつて來た、故に將來の在テキサス日本人米作者は此等の人と聯合して自己の作る米をば此同胞なり支那人なりに向て直接に賣り捌く機關を充分に備へさへすれば、精米所に對しては只だ手間賃を拂ふのみで販賣上の利益は白人に取られずして此の機關が取ることが出來るのみならず、作米賣捌きの道に何の苦もなく大市場を手に握ることが出來るのである、斯く生産者が自ら其産物を直に消費地に輸送するとは米國で大葉園の持主等が實行する方法であつて、つまり中間商人の専横を避けて成る可く生産者の利得を多くするの組織である、或テキサス論者中にはテキサス米作は生産過多の傾向あり作米賣捌きの道に窮せんとするなといふものがあるが、これ畢竟事情に暗いところから出て來た杞憂に過ぎないので、實際行方次第で市場は直ぐ目



の前に出来るのである、而してこれと密接な關係さへ付て置けば縦ひ白人の作つた米が賣れぬとがあつても日本人の作つた米は日本人自ら之を賣るとが出来るので、今や現實に其兆候が現れて居る、已に此大市場が我々の手の中にあるとすれば何を恐るゝの必要があるまだぐ日本人が此上三萬エーカーや五萬エーカーの米を作つても需要の道は在米の東洋人丈で澤山である、而して今日は果して日本人が幾何の面積を作つて居るか、テキサス、ルイジアナを通じて總計二十三萬エーカーの米田中、日本人の分はまた二千萬エーカーにも達しないではないか

### 第十、米以外の作物

#### (一) 其概要

テキサスの農業は米作に由て日本へ紹介せられただけあつて日本に居る人はテキサスと言へば直に米作を聯想する、故に他の作物のことを言ても或は耳に入り難いかも知らぬが、テキサスに行つて日本人の爲し得可き事業を獨り米作のみと思ふは大なる考

違である、殊に米作は前言通り一般の日本人に取りては少々資本が掛り過ぎはせぬかと思ふから、予は比較的小資本の人には他の畑作を試みることを奨励する、畑作の方面は勿論米作地帯中にもあるが寧ろ一步北に進んで前述の中部テキサス森林帯の中で開けた部分に行つて行く方が宜しい、この邊の地味形勢地代便否等も充分に取調べをして來た積であるが、地代金は已に開墾せられた部分は米作地と取て異らず否却て安價な位である、勿論鐵道の便は第一の要素だがこれは縦横に貫通して田舎の小さな村でも三條四條の鐵道の幅濶する場所が幾らもある、地味に至ては實に無上の沃土であつて全体が砂的壤土で概して眞丹色の土壤である、其地方へ行くは大農的には桃園を第一として一口に數千エーカーのものもある、小農作物としてはカベーン、トメト、馬鈴薯、甘藷、玉葱、苜蓿が主たるもので別けて此地方のトメトは桃と共に米國北部の市場で名高いのである、作法は敢て日本で作るのと異なるが、大力を要する仕事は例の通り馬にやらせるからして一人分の耕作面は略十エーカー(四町歩餘)である、作物販賣の方はそれ／＼運車積、氷詰にして遠方の市場へ出すのであるが成功した場

合一エーカーに付二百弗三百弗の純益を占むることが出来る、勿論かゝる作物は米杯とは違て緻密なる耕作を要し、且つ徹頭徹尾自分労働でやりはんの收穫時に人手を雇入るのとである、野菜類は米とは違ひ年と季候に由て當り逃れのあるは免れないとして、其代りに年中三作は大丈夫出来るから甲で失ふても乙で得るといふ強味がある、土地の代價は町と鐵道に近き所にて充分開墾されたものが住家付にて一エーカーに付矢張二十弗位である、木の生へて居る所ならば十弗以下である、サテかゝる種類の事業を爲すとして二人連にて二十エーカー位を買ひ入れ馬二頭に農具一式を整へ半年間位な食料を貯へるとして幾何の資金を要するかとはいへば約一千五百弗も持て行けば充分である、土地買入の位地は、ラキフン、バンスタイン、タイラー、マヤクソンビルなどいふ町を中心として其近邊で詮索をするが宜しい、バンスタインには既に數名の日本人が起業をして居る、何れもヒューストンからは五十哩位北に當る所で風景絶佳宛かも我日本の如き地勢の所である、此邊の土地を買ふにも矢張ヒューストンの土地仲買人から買ふとも出来るしまた自ら右等の土地へ行て尋ねても賣物は幾らもある、賣買

の習慣方法等は前に米田の部で述べた處と少しも異なる、右等の方面へも海外起業同志會に於て夫々後進起業者の爲に案内なり助力なりの道は備はつて居るのである勿論此の畑作仕事は矢張日本に於て畑作に經驗のある人でなければ逆も出来ぬ、要するに米作に比して熟練を要すると更に多きが故に其覺悟が肝要である、而して米國農夫等は緻密なる耕作を要する野菜杯となつて見ると、彼等は實に鈍なもので所詮充分の作を仕揚げ能はぬのである、今の處でも苺なりトメトリーなりで成功して居る者は亞米利加人に少くして伊太利人獨逸人杯外來の民に多い、こゝらが我日本農夫の最特長であるからして、充分に我内地で經驗のある人が行てこの雑作をやれば必ず成功をする、現にカリフォルニア邊でも日本人は白人の二倍以上を何を作つても收穫して居るのである、況んやカリフォルニアに比べては土地の代價は十分の一季節が早くして初物を出すと三週間も先だち、おまけに東部北部の大市場への距離が半分以上近いのであるから、カリフォルニアの農業よりは更に見込が多いのである、今參考の爲め左に桃園及び畑作經營のたとを二三紹介する

**土質** 桃を植ふるには高燥にして赤色砂的壤土又は赤色にして鐵分ある床土の地を撰まねばならぬ、低濕の地は概して之に適せない、但し其適當の地は前項に挙げた地方へ行けば幾らもある、其郡名はアンダマン、ヒューストン、スミス、ケロキー、フリーストーン、ヘンダソン、ラスク、ハリソン等であつて、其面積凡二百方哩の地を菓園地帯といふのであるが、其十分の四までは桃園に適して居る

**土地の代價** 地代は樹木の生へて居る所で一エーカー凡十弗、開拓した所ならば凡二十弗内外である、尤も其買入地幅の大小に随ひ、又た其位地便否に由て價は異て來るが右は其中庸否驟る上等の部分の價である

**種類** 桃の種類は非常に多いものだが通例商品用として尤も廣く作らるゝものは、エルバタ及びアルプスビエーチー、マミローツス、カルマン等は重なる種類である

**植付** これは秋季と春季何れにても宜しい、苗木の價は一本凡三仙、一エーカーに付百本の割合に植へる、其植付手間賃等一切で一本に付凡二仙であるから一エーカー

に付苗木植付賃共凡五弗である、勿論自ら植付を爲せば手間賃は要せない

**收益** 最初二年間は桃實の收益は無い其代りに樹と樹との間に通常の野菜を作るこゝどが出来、就中馬鈴薯は尤も適當の耕作物であつて、三年目までは充分此の間作物を以て利を見ることが出来る、其後と雖も夏はカウピース、冬はクローバー等の牧草を樹々の間に作るには差支ない、三年目に至りて一本に付二三十仙の收益あり、四年目から八年目までが最盛の期で、年によりては一本に付二弗以上の收益がある、又た外れることもあるから、豫算としては平均一年一本に付一弗の實益を見て置けば差支はない。即ち一エーカーに對して百弗である、八九年目に至れば更に新しい苗を老樹の間に植へて、其二年後には老樹を伐り倒し再び新らしき樹のみの園とするのである

其他耕作の方法は敢て日本にて行ふ所と異らぬから之を容するとして、若し日本から菓樹栽培に經驗のある人か、左なくとも普通農家の人が渡航して、先方にて經驗を積み遠大の計を以て之を経営すれば、必ず成功疑なきことと信する。中部テキサスには白人農夫等が大なる會社を組で所々數千エーカーの桃園を經營し、其菓實を米國東部

北部の大市場に輸出して立派な利益を擧げて居るのである

(三) アルファアルファの事

日本人の聞慣れぬ名であるが、これは一種の牧草で、牛馬豚飼料の最第一に位し、テキサスの新農産物中米や桃に次で最も有望の作物である、此草を耕作するの利益なる點は、他の作物と違ひで、一たび根を仕立て、置けば八九年間は只だ收穫するのみで植替を要せないのである、而して其收穫は一年に三度、一エーカーより一度に付凡そ一噸半の牧草を得、一噸に付十弗内外の價を得るからして少くとも一エーカーに付一少年三四十弗の収入が、耕作費を要せず、收穫費のみを以て取れるのである、而してアルファアルファも亦た桃と同じく、而して米とは異なりて、規模の大小は其人の適宜であるから甚だ經營上便利がよい、併し自家用牧料のみの積りでなく、一の産業として行ふには十エーカー以上を造らねば、産物輸送の都合上、運賃の關係からして面白くない、而して此作物一人の管理し得べき面積は凡そ一百エーカーであるから立派な大事業として經營するに足るのである

尤もアルファアルファも亦た他の野菜類草樹類と同じく低濕の地を嫌ふ、故に桃園と同じく高燥なる中部テキサスの丘陵地方に至て行ふの外はない、米作地帯中には之に適するの地は甚だ少いのである

(四) 野菜の種類

野菜は概して春秋二作で、二三月と八九月は最も起業に都合宜しい時季である、其種類は馬鈴薯、甘薯、カメーマ、トメドー、玉葱、苺、瓜類、大根、蕪、豆類、アスパラガス、カリフラワー、セラー、レタス、ラヂシユ、スピナツツ、ビーナツツ等が重なるものであつて、收益は成功をした場合は一エーカーの一作より二百弗にも登るものがある、其作法等は一々茲に説明するの餘裕はないが、要するに日本に於て野菜耕作に經驗のある人には何でもないものである、我國人の小農仕事に熟練なるや必ずカリフオニアの實例の如く成功し得ることは疑ない所である

(五) 畑作の資本

倍右の如き雑作を目的にテキサスに行く人の参考の爲に最も必要なる資本の目を左に

掲げて置く

一金二百弗

土地二十エーカー

(一エーカーに付廿五弗)買入代金五百弗  
の内現金拂高 残三百弗は三ヶ年賦但し  
年八朱利付

ミユール二頭馬一頭

馬具及乗鞍

農車一臺

農具一式

家具一切

三人半ヶ年の食料及び誰費

種代苗代等準備

豫備金

計 金 一千九十五弗

尤も此金額は必しも全部一時に支出を要するものではないが、苟くも七千哩の遠方に  
移住して事業を經營する以上は、全く石で手を詰めた如くに窮屈なる財政では萬事不

都合であるが故に、少くとも一組に付日本金二千圓位な金は旅費の外に用意して行か  
ねばならぬ、尤も一組二千圓とは丁度米田一百エーカーの小作を爲し得る資本である  
から、此位の資力の人は、先方へ行た上で善く観察をして、米の小作か若くは畑  
作か孰れか自分の氣に入つた方を撰びが宜しいと思ふ  
今一つ申し添へて置くことは畑作起業者は米作者に比しては、渡航の時節が更に自由  
なことである、米作者にして先方へ着後直に土地を撰定して着手せんと欲する者は必  
ず十二月までに渡つて居らねばならぬが、畑作者は之に反して何月に行ても其れく  
時節ものを作るとが出来るから更に便利である

### 第十一、生産組合の事

米作は勿論雑作即ち野菜耕作に於ても、特に大切な點は作物販賣のとであつて彼國の  
農家はこの事につき半商人たるの機敏さを有せねばならぬ、漁車と電信は農家の爲に  
もまた最要の利器であつて、彼等の作物は十里や二十里の距離のみならず、時として

は二三千哩も遠方へ氷詰として送るので、ニューヨーク、ポストン、シカゴ、セントルイス、カンサスシティ、セントポール等の大都會はテキサス野菜の好市場である、かくも遠距離に而かも腐敗し易い野菜物を送るのであるから輸送の巧拙は利益の上に大影響を及ぼす、而して讀者も知らるゝ如く瀛車積といふものは端荷になるのと貨車借切とは運賃の上に甚しき差違を生ずる、特に小荷物運賃の高價な亞米利加に於てはこの差違が最も甚しい、貨車借切で送れば立派に利益のある品物も小荷物並の運賃を取られては丸で耕作者は鐵道會社の奉公をして居ると同じことになる、是に於てか彼方の農夫はるの部落々々で生産販賣同盟を組織し互に同種の作物を持ち寄りて貨車荷を造り上げるとを努める、而してこの同盟には立派な報酬を拂ふて幹事を置き、絶えず各市場の間屋と通信をして値の善い處へ送荷の號令を下す、特に菓實の如きに至てはこの組合が大市場の間屋と電信で掛合をして注文を取り、値段を極めてから摘み取りに掛る位なものである、また農夫各自に於ても豫て各市場の信用ある問屋を詮索して送荷先きを極めて置かねばならぬ

右等の方法に隨て作物を賣り出すならば、品物が先方へ着してから問屋の爲に左右せられて不意に直段の引下を喰ふたり仕切金を倒される様な憂はない、大抵出荷してから一週間か十日目には先方から勘定書を添へて仕切金を送て来る中々信用を重じたものである、市場の間屋のとは彼方の言語ではコンミツシマーチエントと言って、矢張多し中には色々なものもあるから最初取引を始める時に十分其信用を確かめ名高い家へ送る様にせねばならぬ、又た場合に由ては一定の間屋と豫め作物一手賣買の契約を結び直を定めて置いて後に送り出すとも出来るのである

また雜作農夫が多く集合して、其地の産額が大きくなつて來れば、各市場の間屋から出張所を其地に拵らへて菓物なり野菜なりを買ひ出しに來る、斯うなつて來れば農夫は引き付け商ひで貨車の上で直ぐに仕切が取れるのである、故に成る可く右様な組織と勢力の既に出來て居る方面へ住み込むのが利益である、勿論それはどの組織と勢力の出來て居る所では隨て土地の代金も高いが、安くして不便な所よりは高くても便利で直ぐに業務の緒にも就き販賣方の容易な方面を撰む方が得策である、可相成は日

本人も斯様な仕組を以てテキサスのこの小農方面をも開拓するが宜からうと思ふ

### 第十二、 賣地の多き所以

米作地に於ても他の畑作地に於ても、土地を買ふことは前申す通り甚容易であつて彼地方へ日本人が入り込んで行けば、買ふ可き土地を尋ね求めるよりも寧ろ先方から申込んで来る土地の多いのに困る位である、夫れも未墾の處女地のみならず怪むにも足らぬが中には立派に開墾され住家も建てある財産を買つて呉れよと勧めに来る、是に於てか様子を知らぬ人々は、何となく奇異の感を生じて、自分らはテキサス農業の有利なることを聞て、遙々日本から出て来て居るのに、さてテキサスへ来て見れば、既に之に従事して居る白人等がやたらに土地なり住宅なりを賣りたがる、これには何か必ず仔細がなくてはならぬ、或は其土地が甚だ劣等で、永く其所に居住するに足らないから、斯くも賣逃げをするのではあるまいか、或はテキサスの農業が到底見込がないからして、白人共が浮足になつて居るのでは無からるか、却と種々の疑念が起て来る

之れはさうでない、土地廣くして人口が稀薄なから斯くも賣地が多いのだと説明されて見た所で、只だ夫れ丈けの原因ならば、未墾地のみを賣物でなければならぬ筈なのに、既に拓かれた立派な家付きの畑杯を賣りたがるのは何故かと矢張怪まざるを得ない、そこで段々裏面の消息を研究して見ると種々の原因が幅横して左様いふ風になつて居るのである、其第一の原因は、之を全体から言ふて、亞米利加人といふ人種は農業が嫌ひで、商工が好きである、可相成は淋げな田舎生活を止めて愉快の多い都市生活を爲したいとは彼等を支配して居る念慮である、其の希望は男子よりは特に婦人に於て熾なのであつて、而して彼國の風俗では此の婦人の權力といふものが男子を左右する力があつて、彼等は農業をして、少し金が出来て来ると、皆な都市へ出て商業をする様になる、自分は兎も角妻君の苦情の爲に動かされて勢左様なるのである、第二の原因は矢張第一と同種類であるが彼國青年の氣風が矢張田舎を厭ふて都市を好む故に相當教育を受けて一人立ちが出来るやうになると、長男でも何でも御先祖の祠が何うの、家督相續權が斯うのといふ様なことを思つては居らぬトットと都市へ出て行く

立獨行或は身を商界に投じ或は教育無きものは製造なり工業なりの職人となつて一日何程と極つた錢を取ることを好む、而して又た都市は都市で文明の進歩製造工業の發達に連れて、青年子弟を田舎から引き出す曳引力が甚だ強い、此傾向は獨り米國のみならず、歐洲諸國では尙ほ更ら盛なのであつて、年毎に田舎の人口の割合が減じて、都市の人口が非常な勢で膨脹するのは、田舎の爲に困つたものだ、と社會學者等は種々心配をする位の勢である、これは日本でも今後益々左様なるのだが、それも人口の多い古の國では田舎の爲に左様一時に顯著なる影響も及ぼさぬが、人口の少い米國、就中其米國中でも更に甚しく人口の稀薄なテキサス邊では、甚しき影響に被るのであつて、夫れが爲に田舎の老夫婦は、今までは農業で可なりに生活もし子女の教育もして來たが、偕彌兒供が大きくなると、其の兒供は皆な都市へ出て行く、自分共は追々年を取て、田畑を自ら管理することが出来なくなり止を得ず女子等の跡を追て都市へでも出て行くに就て、其田畑が賣りたいといふ種類が多い、中には又た若後家などが再婚をするに多くは都市の人間を撰び、そこで嫁入をしに町へ行く爲に田畑が

賣りたいといふ縱ひ又た其寡婦が年稍長けて操を守る場合にも子女を教育の爲に都市へ行きたいから、田畑が賣りたいといふことになつて來る  
更にまた第三の理由として、米作地に賣地の多い所以は、只さへ農業嫌ひな彼等米國人は特に米作を嫌ふ、元來米作は水を扱ふ仕事で、泥濘の中で勞働せねばならぬ、然るに彼等は甚しく身体を濕すことを嫌ふ、殊に裸足で働くことを大に嫌ふ、米作の利益あるに拘らず其割合に先方の農夫が之に従事する者多からずして日本人に侵入の餘地を興へて居るのは此理由も與て力がある、故に彼方の米田は多くは大資本家が規模の設備をして、白人農夫が之を小作して、更に其者等が黒人を使役してやらせて居るこれがまたテキサス米作の大体上收穫高の割合が少ない所以であつて、苟くも有土農夫として百なり二百エーカーなりの田地を持て、自ら勞働なり監督なりをして注意深く米作を爲して居る者は、決して一エーカーに對し九袋や十袋の收穫を取て居らぬのである、又た左様な人物は中々土地を賣り放さないものである  
米國は金利の安い國であり乍ら、それは必ず有利な米作を何故資本家がモット多くやら



ぬかといふ疑問を起す人もあるが、成る程米國は金利は安い、安いがろれば確實な抵當を取て貸すか若くは銀行へ預ける場合に安いのであつて苟くも金を事業の資本に投じて、自ら經營の面倒を見るとなると、決して彼等は二割や三割の利益では甘じて居る人民でない、金利の外に自己に對する充分の報酬を取らずでは働く人民でないのである、又た彼等の爲に投資の道は到る所自己の門前に幾らもあるからして、故さら遠方から慣れぬ事業に手を出しに來るに及ばぬのである

米國人が田畑に對する觀念は日本人のとは大に違ふ、彼等の田畑は祖先が粒々辛苦の餘になるものではなくて、概して自ら一寸買ふて見たものである、故に田地の上に財産の基礎を据ては居らぬ、田地を賣れば家の格式が下るといふ様なことは彼等の念頭には毛頭もない、今日は米田の主人であつても、明日更に夫れよりも身体が樂で割合の善い仕事が見付れば、誰に憚る所もなくトットと之を賣飛して、新事業の方へ移つて行くのである、此所らが新國の新國たる所以、又た米國の大なる所以である、故に彼等米人の間には只に日本人に對してのみならず、田畑の賣買は實に活潑に行はれるの

で、つまり一種の商品に過ぎないのである

特にテキサスの田地は今でこそ、荒地であるへも一エーカー十五弗とか、二十弗とかの價値はあるが(ろれでも日本人から見れば非常に安いけれども)五七年前には其三分の一更に十五年前にも潮れば無代價同様で手に入れたものである、故に彼等に取ては苟くも所有地を賣るといふことが必ず大金儲を意味して居る、其儲けた金で都市へ出て小奇麗な商賣でも仕度いといふのが彼等の多くが理想とする所である

尙ほ又た米作は資本を要する農業であるから貧乏な者には出來ぬ、而して盛に米作を爲し得る程に資金の出來て居る者は、ろろくと山の神に促されて都市へ出るとを考へて居る時分である

更に米作地を去て畑作地方へ行て見ると、此所でも矢張賣地が多い、其所以は勿論地幅餘りあるからには相違ないが、更に適切な原因としては、近年テキサス州の綿作の虫害である、人も知る如く由來テキサス農業主産は綿である、綿では世界の相場を左右するの勢力をテキサス人は持つて居る、彼等は祖先以來只だ綿さへ作て居れば困ると

がなかつたので、又た彼等の多くは綿と玉蜀黍の外には作法を全く知らないのである。然るに近數年來、此の主産たる綿作の上に一大災害が行はれて、殆んどテキサス産綿の基礎を動揺するといふ程の恐慌を起させて居るものは、彼方の人がボール、ウイールといふ羽の生へた綿蟲の發生である、テ、それの通過する處は、綿作を殆んど絶やして行く、此害に掛つた綿畑は善くとも只だ三分の一ほどの收穫しかない、而して此蟲害が最初メキシコから侵入して年々歳々平均七哩位づゝテキサスの綿野を掠めて居るとは恰も往年テキサス人が漸次にメキシコ人の政權力を蠶食した其復讐を爲して居るかと思はるゝばかりである、勿論政府に於ても五十萬弗の懸賞をしてこれが絶滅法を募集して居るが、不幸未だ如何なる學者も専門家も之が鐵案を下し得ない、尤も此蟲は幸に綿の外一も他の作物を害せないからして、テキサス農夫は今や綿作を止て他の雜作物に移らねばならぬ、そこで新聞社杯が率先をして大に雜作運動といふとを起し新聞屋の方から野菜物杯の耕作法を農夫に教へてやるといふ如き、寺から里への運動が始まつて、百姓の方でも追々之を覺つて、他の野菜を作る者も多くなつて來たが

何分彼等は祖先以來經驗のない仕事であるから中々容易に移り得ない、縦ひ移り得たとしても、野菜は綿作とは違つて、一人前の耕作面積僅に五乃至十エーカー即ち綿の十分一もやれぬからして大に畑地が餘つて來る、故に此餘る所を賣りたいと斯うなつて居るのである

右の次第であるから、今のうちに日本人が移て行けば幾らも割安の良田圃を撰り取りに買ふとが出来る、併し數年來伊太利人獨乙へ又た米國北部の人民が續々とテキサスへ入込で居るからして今後五年も経てば大に形勢が異て來ることゝ信ずる

### 第十三、 土地所有權と日本人と歸化法

テキサスには外人土地所有法といふ法律があつて幾分か他國人が土地を所有するに制限を置いて居る、その法律と日本からの移住者と如何なる關係があるか、或は彼國へ歸化をせなければ田地の持主にはなれないか若し然らば日本の國籍を失ふととなるから全く彼國で生死せんと覺悟もなく幾分日本に於ても財産上權利上の關係を有する者

は甚だ困るといふ人もある、また歸化するとは厭はぬが果して彼方で容易に歸化を許すや否やとの懸念を抱く人もある、そこで此歸化の事はテキサス州では日本人に喜ぶ之を許す既に昨年来も現住の日本人にて歸化したものが數名あるが、さて歸化をせねば地主にはなれぬかといふに決して左様でない、今これを明にする爲に少しく彼州の外人土地所有法の沿革から現行法文を紹介しやう

抑もテキサス州の外人土地所有法の起りは革命、獨立、戦争、合併杯といふ紛擾が治まつて秩序稍回復した時分に、獨乙人や英人の金のあるもの等がテキサスの沃土の噂を聞いて續々と人を遣はして、テキサス州で大な土地を買ひ占め、將來の騰貴を待つものが多くなつて來た、テキサス人はこれでは多數の自動的移住民を招來して州の人口の増加を圖り速に未墾地の開發を促し以て州の繁榮を來さうといふ本來の州是を妨ぐる結果となるといふので、遂に一千八百九十一年に至て一の法律を制定し「凡る米合衆國の國籍を有せざるものはテキサス州に於て土地を所有するを得ず」と極めた所が此法があまり履行せられると外國からの移住者は全然米國に歸化して仕舞はねば

土地を所有するとが出来ぬととなり却て土地の發達を妨げる弊があることが明になつて一千八百九十二年に至り改めて「外國人はテキサスに於て土地を所有するを得ず、但し此法律は本案通過の時に已に土地を所有し居たる者に適用せず。外國人と雖も町村市に於て屋敷地を所有するを得。外國人にして當州の善意の住人となりたるものは合衆國民と同じく土地に關する凡ての權利を有するを得。テキサス州に住せざる外國人にして土地を所有したるもの、若くは土地を所有して後テキサスの住人たることを止めたるときは、之を賣却する爲に十ヶ年の猶豫を與ふ。未丁年の外國人にしてテキサスの土地を所有したるものは其本人丁年に達して後更に十ヶ年の猶豫を與ふ」といふとに改正して、つまり法律の骨髄をこしらへて仕舞つたのだ、そこで現今の實際に於て此法律に抵觸するとは外國人が自國に居ながらほんの投機的に遂にテキサスの廣大な面積の土地を買ひ占めるといふ場合にのみ當てはまるのであつて縦ひ外國人と雖も身自らテキサスに至て其州に住し所謂「善意の住人」即ちボナファイデ、インハビタツ、オヴ、ゼ、ステートとならば土地所有權を差支なく得らるゝのである、即ち日本か

ら農業を爲す爲にテキサスに至て其地に滞在する間は取も直さず「ボナファイア住人」だから少しも土地所有に差支はない、合衆人と同じく土地に關する凡ての權利を享有するととなつて居る、そこで若し其人が他日都合に由て日本へ歸つて仕舞ふ時、即ちテキサス州のボナファイア住人たることを止める時は、其時から十ヶ年内に之を賣るなり又は名を切り替へるなり時機の處置を附ければ善いとなつて居る、而して斯る權利は既得權であるから他日テキサスの法律が改つて更に嚴格な制限を附する様になつても既往に溯つて之を左右せらるゝ恐はない、つまり日本人はテキサスに行て歸化をせずとも土地を所有する事が出来る、また歸化をしやうとならば容易に出来る一人に付き二弗の人頭税さへ拂つて置けば六ヶ月目からは凡ての撰舉被撰舉の權利を實行せらるゝのである、已に昨年十一月の總撰舉の時杯はレバブリカンやデモクラツト黨の候補者や運動者が頻に我々日本人の所へ投票を頼みに來て居た税の序に彼方の地租のと言つて置くが、これは百エーカーにつき一ヶ年に十弗以内で一切の税を拂ふとが出来極めて安いものである、尤も郡に由て多少は違ふが何れにしても齒牙に掛くるに足らぬ

最一ツ序に言つて置くとはテキサス州では家産法(Homes-Exemption Law)といふものがあゝ、これは夫の破産の場合にその妻子を保護する爲のもので、要するに一百六十二エーカーの土地と住家と生活の必需品とは借財の爲に強制的に賣らせらるゝ恐はなく、一種世襲的の所有物となるのである、但し夫妻同意して自由意志から賣却するとは差支はない、彼方で土地を買ふ時に必ず賣主の妻の署名をもさせねばならぬといふのはこのことである

#### 第十四、植民の生活

テキサス州の田園生活は、何のことはない太古純朴の世無爲にして化すといふ時代もかくやと思はるゝ自由の郷である、相當の人口を有し市制を布いた所は別として、村落に至ては警察もなければ役場もない而かも争鬪盜意の面倒もなく人民各自の自治と互に他の權利を尊重してよく丸く治て居る、日本人杯が新たに其村へ住み込んで行て

も寄留屈をするでなければ、巡査が戸籍調べに来るでもなく、隣人は直に親切に交て呉れ、知ると知らぬに論なく途上で合へば必ず朝夕の會釋をし合ふのである。村には只郵便局と鐵道停車場があるのみで、それも大概婦人一人で驛長も切符賣りも輪遊課長も電信技手も兼ねて居る、郵便はアール、エフ、アといふ制度の未だ布かれて無い處では人民が毎日時を計つて局まで取りに行く、これは随分慣れるまでは不便であるが感心に到所學校の設備だけは届いて居る、三家村裡ならまたしものこと周圍一哩位には人家も無い様な處にさへポツリと小學校の校舍が立て居る、その學校へ何處から集ることもなく毎日兒童が群り來て教授を受けて居る、勿論これ等の公立學校は皆な州費であるから無料教育で、何れの人種と雖も區別なく入學を許すのである、一望無限の青草原を色飽までも白と十二歳の少女がフサ／＼とした黄金色の頭髮を涼しき朝風に吹き流させ右手に手綱を取り左手にアツクを抱へ、短き袴の裾から半ば以上現れ出でたる長き両足を馬の片脇に行儀よく揃へ樂さうに横乗りをして學校へ通つて來る有様などは實に得も言はれぬ一幅の活畫である

これに就けても日本人の爲に初めから特に注意して置くとは馬に乗ると其手入れとである、馬は農業の主用物たると同じくまた交通上の最要機關である、テキサス人は男女生れて襦袢を離れると早やくも馬に乗り馬を御するを何時ともなしに覺ゆるのであつて、婦女子と雖も馬に乗らせては到底我々の企て及ぶ處でない況んや其男子をやである、彼等の乗馬ころは眞に鞍上に人なく鞍下に馬なく凡て一身同体の運動をするのであるが、吾々日本人の多數は甚だ之が不得手で人と馬と意氣相投せずしての様恰も舟に乗れるが如しとでも形容すべきか、兎に角に日本人の馬に下手なのは彼等の竊かに笑ふ處となつて居る、テキサスに限らず苟くも大陸的生活に入らんとする人は須らく豫め多少の馬術を習ふて行かねばならぬ併し幸なことには、彼方の馬は其性極めて柔和であつて、漫に喰ひ付くの蹴るのといふとはなく、只だ不慣れの人に扱はれるときは却て馬の方から人を恐れて逃げるのである、故に逃さぬ注意をすればよい、我々日本人は物を習ふに速であるから、縦ひ全く馬を知らぬ人でも半年も経てば、熟練するとは自分自身の經驗上疑はぬので

ある。

植民の生活に何よりも必要なのは妻即ち内助者である、何うしても人の家には婦人が必要である、男子のみの家は兎角殺風景であるのみならず第一に炊事清掃洗濯の任務は本来婦人の管轄に属すべきことで、男子が之を遣ると第一に不経済、第二に無器用心を起し、事業の勇氣を沮喪され、落付て永入の計を爲す忍耐が乏しくなるの恐がある、故に妻ある人は必ず最初から同行するか、然らずんば住家のチャンと整ふた時分に呼び寄せるが得策である但し妻君を米國へ連れて行くには、最初から日本流の婦人に對する習慣を脱却して成るべく妻を尊重するの覺悟をせねばならぬ、働をさせるにしても家内の仕事はよいが、決して田園の勞働などを手傳はせてはならぬ、精々野菜を摘み蒔を採る位のとより以上はさせられぬ、然らざればその亭主なるものが大に隣人の輕蔑を招き米開人として嫌はれるのである。

### 第十五、

### 英語の必要と團結渡航の利益

孔子が六藝の中に言語の一目を置かれたのは實に千古の達觀である、獨りテキヤスのみに限らず、苟くも他の國に入て事を爲さんとするには、其國の言語の素養なくして速に成功せんとするは極めて困難なことである、尤も大資本ある人は獨力を以て克く英語に通ずる人を聘して行くことも出来やうが、さなき人々に於ては可相成五人なり十人なりの同志團體を作り、縦ひ事業其ものは銘々別々の會計を以て行ふとするも、社會的に共同して、經費を出し合ひ、出ては通辯外交の任に當り入ては其人々の爲に英語の教師となり又た事業の指導者となる可き人を聘して行かねばならぬ、若し自ら英語にも通せぬ人が如何に我慢を以て猪突的に進んでも先方に於て不都合百出して失態を演ずるとは、昨年中に於ても隨分其例のあることだ、植民は尙ほ軍隊の如く、組織あり節度あり凡ての機關具備するを要するもので、散漫たる烏合の衆は以て大成を期するに足らぬのである、これ予即ち予輩が海外起業同志會を組織して、團體的移住を

百一  
獎勵し且つ同志者の爲に其機關を供せんと欲する所以である、斯の如くしてテキサスの移住者が初めより秩序と機關と組織とを以て進入するとせば、啻に英語の便利買掛引の上の利益あるのみならず、前に言たスレンジャーといふ稲コキ器械の如きも、共有で買入れて置けば一年にして其代金は取り返すとが出来、而して次年からは一俵に付十仙づきの稲コキ賃が省けるとすれば亦大に經濟にも善い、農繁時には互に應援も出来やうし、社交的俱樂部も英和學校も日本からの新聞雜誌の廻讀も町への買物も郵便取りも凡て簡便に達せられる、殊に同族緩急相助けることや生産販賣同盟を組織して作米や他の農産の賣別に機敏な働きも付かうし追々勢力を得れば日本人の手で精米所をもこしてへねばならぬ、一寸五萬弗も掛ければ一個の精米所は建つのである伊太利人とか獨乙人とかの移住者は皆な其様な團結を作り、同族一所に定住して生産同盟や學校や教會や俱樂部が出来らへ、到る處に小獨乙小伊太利を現出して居るのである、かくてこそ第二の故郷ともなり、個人々々の望郷病をも豫防し永遠の新日本も出来るのである、序にテキサス州の基督教會の人々は日本人に對して非常に親切であ

つて、現今に於ても種々と好意を盡して呉れる、就中聖公會の監督キントルビングといふ老僧正の如きは、テキサスで日本人の村落が出来さへすれば早速教會の出張所を置いて教育をもなし充分の味方となつて社交的に其利益を保護しやうと云はれて居る、尤も彼方での基督教會は、社會上に大勢力大威嚴を有したものであるからして、斯る有力者の同情は信教の自由は自由として大に將來の移住者の爲に頼もしいこと、考へる、望らくは精神金鐵の如き人柄の善い公徳心に富た人々が續々團體を作つて彼地へ行かれないと考へる

## 第十六、 米國に於ける地方的感情

他國から有爲の移住者を招致して人口の増加土地の開發を計りたいとは單にテキサス州人のみの希望でなく米國中到る所の諸州皆同一であることは本年の大統領の教書に於ても明なる所である、故に米國の各州では何れも自州の富源有望なることを盛に廣告し争ふて移住者を自己の州内に引き付けやうとして居るのである、同一の州中で

も或は東北部とか西南部とか中央部とか其位地と經濟的區畫に由て亦互にこの競争をして居る、故に甲州の人は概して乙州を悪く言ひ甲部分の人は必ず乙部分の事を誹つて、つまり自己の居る所を以て天下最上の邦土なりと稱して居る、されば甲乙丙丁何地が最上なりやは何ちらの人に何ちらのことを聞き合せても其真相が分らぬ、つまり自ら其各地に臨んで各自の目的に應じて較らべて見るより外はないのである、而して此地方的感情を獨り米國人彼等自身の間にあるのみならずまた在留の日本人間にも存して居る、試にシヤトル、ポートランド、サンフランシスコ、ロスアンゼルスと夫れく在留して居る日本人に向て其地のどこ、他のことを問て見れば、彼等は皆自分の居る所が最上の地と信じて他は皆な之に劣る様に言ふのである、既に太平洋岸の各地相互の間ですら左様であるから、況して其邊の在留の日本人に向てテキサス邊のことを聞くときは、彼等はテキサスは何んな土地か其農業は如何なるものか知りもせずして頻に之れを悪くいふ、シヤトルやサンフランシスコの日本人間には箱根知らずの江戸兒ではないが、テキサス知らずの非テキサス論者が官民ともに中々多いのである、故

に將來の起業者は決して斯る地方的の僻論の爲め誤らるゝことなく、一直線に目的の地に進入せねばならぬ、同じ米國內と雖もサンフランシスコからテキサスまでは日本から朝鮮へ行くとは十層倍以上の時間を要する程遠いのであるからろんな所に住んで居る人に向て彼是と問合せるのが抑も此方の誤りだ、併しその在桑港日本人の中かゝる時たまには眼の届く人がテキサスへ觀察に来るが來た者は皆大賛成者になつて歸つて行く、此頃は桑港日本人間にも大分テキサスの真相が明らかになつて來て、追々米作起業の計畫者が現はれさうな勢であるが、今でもまだ日本から資金を持って渡航して行く人をカリフォルニア邊で喰ひ止めて、何かの爲にせんとの野心より種々なことを言ふ者があるかも知れぬから、テキサス起業の爲に渡航する者は途中で彼是と他人の言葉などに由て腰を折られてはぬかぬ、テキサスのことは自らテキサスに行つて現に其業を行つて居る日本人に聞き、亦自から眼で見た上でなくては真相は分らぬのである、昨年杯も日本からの視察者等が大分この途中の人言に誤られて甚しきは中途に止つてテキサスへ進入するの勇氣を失ひ、又縦ひ進入しても一旦途中の盲目論者から



聞たことが先入主となつて、折角テキサスに來ても萬事悲觀的に物を視現に數組の日本人が非常の確信と満足を以て經營して居る其米作の結果を見るまでの間すら待つと能はずして去た人も數人ある、また世間にはテキサスへ旅費丈を以て行て能く視察をし、いよく成算が立てから金を取り寄せるといふ様な考で行く人もあるが、ろんな人があの淋しい所へ乗込んだ處で、金か無さ爲に事業に着手は出來ず隨て快樂もなく、又其中には自分で米作を爲す丈の資力が無い爲に嫉妬半分に種々と下馬評を爲す者杯の言を聞て失望し、遂には中途で歸つてしまふ様な人もないではないが、それ等は皆決心と力量の足らぬからの弊である、苟くも事業といふ以上は前途の成算が立たねばやれぬとは勿論だが、併乍今日に於ては已に日本人にして而かも從來日本で米作杯には全たく關係の無かつた政客とか新聞記者とか書生上りとかいふ種類の人々が、立派な成績を上げて居る手本が存在するのでからして、この上は斷然たる決心を以て實行すればよいのだ、大事業を爲すには算盤も大切だがまた一方では幾分か蠻勇的冒險的の氣象がなくては遣れるものでない、それのない様な人は寧ろ

最初から海外へ植民などは思ひ付かぬ方が好からう

### 第十七、 旅券問題

日本人が北米へ渡航するに海外旅券の取締が嚴重である爲に、自然テキサス州に行て居る日本人が自己一人の手に餘る仕事を爲す爲に組合員を日本から呼び寄せる場合に旅券の下付が面倒で呼び寄せ能はぬ様となつては、大に其發達を妨げるからとて斯業の獎勵に熱心な在紐育内田總領事は昨年の夏に一片の告示を出して、自今テキサスの在留農業者にして日本より組合員を呼び寄せんとするときは其本人が土地の所有權若くは小作權あることを證明するに足るの文書を添へ、その呼寄せんと欲する者の住所族籍姓名年齢を記して當館へ願出でたならば、當館よりは外務省に通牒して容易に旅券下付の便宜を取計ふ可しと布告せられた、而して此の事が大阪毎日新聞に出版ると間もなく、テキサス在留者に向て日本の見ず知らずの人から依頼狀が來るはく實に一時は其應答に苦んだ位である、併し今日の外務省及び府縣も苟くも數千弗の資

金を有してテキサス州へ農業にでも行かうといふ者に旅券を渡さぬ筈がないのである。故に旅券で困るほどの人は大抵テキサス起業には資格缺乏の人と言はねばならぬ。又、また眞に資格のある人に對して旅券を渡さぬといふ場合があれば夫れは先方在留の人に組合を頼んで如何様とも手續は出来ぬこともないが先々其様必要な無いこと、信する、既に相當の資力と事業の成案を具して、テキサス農業の爲に渡航せんとするものに對しては、速に旅券を下付せらるゝ形跡が着々として現れて居る様に見へるのは、賀す可きことである。

但し北米の天地は貧富ともに、勸勉力行の人々には、各其分に應じ力に應じて成功立身の道饒々たるの樂土である、殊に今日は我國民は宇内の一大強國の民として到る所に歡迎せられ尊重せられて肩身廣く往來の出來る位地に進んで居るのであるから、願くは當局に於ても、此國民大發展の勢を善導して、一般の渡米希望者に向ても容易に旅券を下付せられんことを希望する。

附 録

テキサス歴史の概要

テキサス州は土地廣漠にして人口稀薄、未開の原野到る所に茫々たりと聞たのみで、之れでは歴史上に未だ曾て見る可きの活動も無かりし所と即斷してはならぬ、抑も始西班牙勢力の輒下より起りて、一たびは佛領となり又た獨立の一共和國となり、遂に今日北米合衆國の一州となるに至るまで、二百年間に六度所屬の國旗を代へたといふ複雑なる經歷ある此のテキサス、豈歴史上に見る可きの活動無くして可ならんやである、況んや其歴史は徹頭徹尾民族發展の歴史であつて、羅典族とアングロサクソン族とが、接觸衝突して、具に生存競争の活劇を演出し遂に優勝人種の占有に歸するに至るまで、其盛衰隆替の跡は討ねて以て我が大日本民族發展の龜鑑と爲すに足るのである、特に又た今後日本人にしてテキサス州に入り、農業といふが如き永久的性質の事業に従はんと欲するに於ては、これ即ち全然若くは半ばテキサス州の人となる所以

である、之を切言すればテキサス州に第二の故郷を開拓せんとするのである、斯の如く、縦ひ或る期限間にもせよ又た永久にもせよ、苟くもテキサス州人の一員とならんと欲する以上は、せめては其州の歴史の要點だけにも知て置くとは極めて必要と考へる、故に予は此の二個の理由即ち一は今正さに西隣大陸に於て尨大なる領州を争へる我民族全体の参考の爲め、二には以て身親らテキサスに移りて其地に住まんとする起業者の爲めに、茲にテキサス歴史の大要を記して巻末に添付したのである

### 太古の民

却説テキサスの歴史は多事なる歴史ではあるが併し其年代は新らしい、僅に三百年來の事だけしか明には分らぬ、其以前はテキサス州の神代と申して宜しい  
 此州の本来の主人は他州と同じく永遠無窮に太古の民たる所謂亞米利加印度人である此印度人が、古へも今と同じきテキサスの鬱々たる樹林の間に形ばかりの蘆舎をしつらへ、山禽野鹿を侶として、温暖なる氣候、豊富なる天産を樂しみ、謂ふ所飽食暖衣

逸居して教なく即ち禽獸に過ぎる生活を營で居たのである、

然るに第十五世紀の末から十六世紀の始に至りて、航海、發見、探險、征服、領有植民といふが如き、未開民には寝耳の水の如き恐しい仕事が歐羅巴から始まつて來て、葡萄牙人バルトロミュー、デアスが一千四百八十九年に喜望峯を發見し、續ひてダガマが印度への航路を開きてガルコッタに植民を建て、又たケブラルが南米ブラジルを發見し、其前數年にクリストフワ、コロンブスが米大陸を發見し、夫れより無數の冒險者が續々と此方面に來て、一千五百十二年には西班牙人ジョン、ホンス、ダ、レオンといふ人がフロリダを發見し、又た一千五百十七年には同國人コルドヴァがメキシコを發見するといふ工合で、追々テキサスにも順番か近くなつて來たが、遂に其翌々年即ち一千五百十九年(恰も我國の永正十六年、北條早雲が一代の野心正に成就して、笑て韭山で眠つた年、西洋ではマゼランが始めて世界一週を行つた年)に西班牙の冒險者フェルシナンド、コルテスが僅に五百五十人の同類を率ひて、メキシコ帝國を覆して新西班牙帝國を南米大陸に建つるに及んで、今のテキサスはメキシコの一部として、

無論西班牙勢力の支配する所となつた、併し乍ら其當時南米に於ける西班牙人は其隣接地たるペルー、ブラジル等の經略に忙しくして、稍東北に遠隔せるテキサスの方へは手を伸すの暇がなかつたものと見へてトント其時代に於ける西班牙植民の跡はテキサス州に於て討ぬることが出来ぬ、只だ僅に州の西南の部分に、カトリックの宣教師等がメキシコから出張して、土人を教化し土人たる印度人等は、其誤解の眼から、何だか尊ひ様な、恐ろしい様な、親切な様な油斷のならない様な、彼等宣教師等に接觸して、次第に其感化を受け眞の神の教やら乃至は耕耘の法、灌溉の道を教へられ、中には其教化を受けて蠻信を捨て眞道に歸依した者があつた位のことだ。

されば白人にしてテキサスの地境に植民らしき植民を始めて行ふた者は一千六百八十四年（我が貞享元年、徳川五代將軍綱吉の時代）である、而して當時テキサスがメキシコ西班牙領であつたに拘らず、其最初の植民者は佛蘭西人の一隊であつた、こゝが一寸面白いところで、これからがテキサスの歴史らしき歴史が始まるのであるから事長

くとも聞き給へ

最初の佛蘭西植民

人も知る如く當時歐洲の各國は西班牙を最強國として佛蘭西之に亞ぎ、次に和蘭英吉利葡萄牙等は各伯仲の間に居り露西亞杯は丸で幼稚の有様、獨逸などは未だ國を爲して居らなかつた、是等の各國が先を争ふて新世界たる米大陸に領土を獲得し、經營甚だ努めたものであるが、就中佛蘭西では、朕は即ち國なりと叫んだ大王路易十四世の盛時であつて、英國が大西洋の東岸から北亞米利加の横斷策を盡する間に、佛蘭西は遠く北の方聖ローレンス河を降り、加那太のクエベック地方を得、それよりミスシッビー河に由りて米國縦斷の策を施した、勿論今日の如く地理も明ならず、佛蘭西人はミスシッビーの河口は確に太平洋に出るものと信じ、萬川の父と稱せらるゝ流に從て太平洋に出で、以て東印度への近路を得たいとの考であつた而して此大經路の實行者となつたのはシーユ、ド、ラ、サルといふ人である、彼は加那太よりミスシッビー河を降り、行くく其の兩側の邦土山川に向て悉く佛國大王路易十四世の名に因て

領有すとの宣言を與へ段々降て彌河口に達して見ると、豈圖らんや河口は太平洋では無くして矢張大西洋の一部たるメキシコ灣であつた、乍併其四邊の沃野萬里悉く佛國の新領土なりと思へば、欣喜雀躍手の舞ひ足の踏む所を知らず、直に其河口の地を路易王の名に因みて、ルイイアナ(路易の地)と名を命じ、急ぎ本國に立歸つて此旨を王に奏聞し、今度は王より植民の許可を得て、四艘の大船と三百人の人数を賜はり再びミスシッピー河口に至りて植民するの考を以て出發した、其一行中には百人の兵士と三十人の紳士より成る義勇兵と、外に多くの職人労働者、下僕と并に家族を伴ふた農夫と四人修業僧と三人の長老師と又た右家族の中には數多妙齡の處女もあつて一行中の花であつたと或る氣樂なる歴史家は記して居る

勿論此時分には今の如く蒸氣船も無く皆帆走船で航海の困難も思ひ遣られるが、其中の一艘は航海中西班牙の巡邏艦隊の爲に捕獲せられ、殘三艘は首尾よくメキシコ灣に入つたが、惜其目的たるミスシッピー河口は何の邊たか少も見當が附かない、段々と西南に行き過ぎて今のテキサス領マタモル灣といふ現今の米作地帯中の一灣に入

り、これをミスシッピー河口なりと心得、其入口で又もや一船を難破せしめ、漸くにして上陸をしたのが一千六百八十五年の二月であつて、茲に城塞を構へて又もや王名に因でセントルイス市(今の聖路易とは違ふ)と名くる町を建て、此邊一帯の地を佛蘭西王の所有なりと宣言した。

此のラ、サルの見當違ひの定住が取も直さず白人にしてテキサスに植民を爲した元祖である。故にテキサスは曾て一たび佛蘭西の所領であつたと言つて宜しい。然るにサルは漸くにして其所がミスシッピーの河口でないといふとを發見し、これは大變な失策であつたと悔た、然し何れ違はあるまいと思ひ、先度ミスシッピーを去りて歸國する時に若干の人を殘して置たから、夫に會ふとして所々を尋ねても見付らない、益不思議に思ふて段々探して見ると、其所はミスシッピー河畔の殖民地から五百哩も隔て居るとが明になつたに就て、百難を冒しても其所に達せんと決心し一隊を組織して自己の弟たる長老師をも其中に加へ、殘れる人々に別を告げて出發した、勿論其人々の爲には糧食は充分に用意しあり周圍の土地も豊饒であるから、決して後で困る

とはあるまいと信じた、乍併殖民の士氣は首領の遠征せんとする爲に大に沮喪し、又一方ではろくど望郷心を催し隨て首領たるヲ、サルを怨む輩もあり其中より反逆者が現はれて、遂にヲ、サルを途中で殺害して仕舞つた、斯の如く首領を殺す様な心掛の殖民の勤勉耐久なる可き筈はない、彼等は亦忽ち自己の仲間と争を起して四分五裂して管理の不始末の爲に食糧の欠乏を起し、印度人之に乗じて襲撃し來り、遂に折角のヲ、サルも殖民も滅亡して仕舞つた、併しヲ、サルに忠實であつた者の中數名は首尾よくミスシッピ河邊の植民地に達し、其首領ドントンチといふ人に會して事の次第を告げ、遂に佛蘭西に歸つたといふのである、嗚呼彼のテキサス州植民者も團體を組で行くは尤も善いが、此佛蘭西人の如く仲間破れの失體を演出しては決して繁昌しませんぞ

佛蘭西人ヲ、サルのテキサス植民は、當時テキサスをメキシコの一部として領有を主張する西班牙人に取ては明に領土侵略の舉である、彼等は土着の印度人よりして見慣れぬ白人がマタゴルタ灣の岸に町を建て居るといふとを聞き、これは聞捨てならずと直に一隊の兵を派して之を攻めしめた、併し其兵の達した時には佛蘭西植民は既に消滅跡なく、只だ殘壘廢屋のみであつた、尤も首領殺しの殘黨二人が印度人に降参して其中に交て居るのを發見し、捕虜としてメキシコの銀山へ送てしまふた、

### 西班牙の植民的教會

是より前、フロリダを發見した西班牙人ド、レオンが國に歸て、米國南部地方の有望なるを報告し、西班牙政府は其請を容れて若干の教兵團を派遣した、これは一千六百九十年で我朝の元祿三年、東では水戸の光國が大に聖學の振興に力を致され、大阪では近松門左が軟文學の覇を稱して居た頃である、さて此教兵團とは僧侶と兵隊と植民農夫との混合体であつて、眞神の恩澤、平和の福音を土人に教へもすれば、又た場合によつては巢討もする、即ち政教兩權の執行所たると共に又た文明的技藝や農業の教授所ともなるもので、これは由來カトリック教國が新領土の開拓統治の先鋒として到る所に多大の効果を奏したが、何ういふ譯か此時テキサスに於けるミッシェンは成

功なくして間もなく撤去せられ、爾來四十餘年の間は、西班牙人も佛蘭西人も取てテキサスに手を附けなかつたらしい。

然るに一千七百二十二年に至り、佛蘭西王はアントニー、クロザといふ人をミスシツビの流域地方に派遣し、それからテキサスを通じてメキシコと貿易を開かせようとしたから、西班牙は何條黙して居らふ、直に再び例の教兵團を組織して、西はリオグランド河から東はサハイン河に至り、即ちテキサスの全州に亘り、蜿々長蛇の如くに教兵團の聯絡を形造つた、此の教兵團の中心は言までもなく、巨大なる教會堂であつて、其傍には土人を收容する屋舎もあり、又た兵營もあり、而して四邊の土地を灌漑し開拓して之を印度人に耕作せしめ、朝夕嚴しき規律の下に教會堂の禮拜をさせたのであるが、何分にも是まで無限の原野に誰憚らず遊び暮し狩り暮したのみの、彼等には斯る規則的生活は窮屈で堪らず、逃亡するものも多くあつたが、又た次第に感化せられて住慣るゝものもあり、各教會の四周若干の地は美田良圃を出現することとなつた、これらの教會堂は決して一時の假建築でなく、皆堂々たる石造の大伽藍で、今も尙ほ

所々に殘存してテキサス建築物の誇となり古蹟名所の一となつて居る

### 西班牙殖民の運命、米人の野心

其後時の進むに隨て、佛蘭西人が動もすればルイジアナの方からテキサスを窺ふの形跡があるに就て、西班牙政府はテキサスの安固發達の爲には只た教兵團だけでは物足らぬとして、遂に一千七百二十八年に拾五萬圓の金を投じて、十三戸の純西班牙種農夫をカナリー島からテキサスに移し、其後も屢々大金を投じてテキサスに民を移したが、此の西班牙人植民政策は何分にも管督宜しきを得ず、漫に壓制を事とし、民の産業、農作物、貿易にまでも干渉をしたから、不平ばかりが多くて頗る植民は繁昌せなかつた、其後長年月を経て西班牙は内憂外患の爲に紀綱大に弛み、亞米利加の領土にまでも手が届かぬとなり、メキシコ人は之に乗じて獨立を企て、テキサス植民も亦た私に其の隣州たる米合衆國の獨立と自由と羨んで、西班牙の軛を脱せんとを希ふた、而して一方からは北米合衆國が次第に強健になつて來て、冒險有爲の徒が頻にテ

キサスの沃野に垂涎するととなつた

### 米人テキサスに注目す、ノラシの侵入

テキサスに於ける西班牙の紀綱弛みたりと雖も尙ほ法律は嚴重であつて、決して外國人特に合衆國人の其地に踏み入るとを許さなかつた、然るに一千七百九十七年、フィリップ、ノランといふ亞米利加人が、六ヶしの中を種々と運動して野馬を捕へるといふ口實の下に、テキサスに入るの許可を西班牙の役人から得、其後再々テキサスに入つて測量を爲し地圖を製し、竊に他日其野心を満足せしむるの下地をこしらへて居た、始は恐るゝ行つたが段々大膽になつて多人數を連れ込んだものだから、遂に西班牙官憲の忌諱に觸れ、或日早朝西班牙兵の爲に取圍まれて、ノラン自身は戦死し、他は捕虜となつて、虐待を受け僅々數人が生還を許された。時に一千八百年である。當時西班牙の紀綱弛みたりと雖も、未だ其テキサスの周圍に閉ぢた門戸はノラン一輩の小徒黨を以て破らるゝほどには朽て居なかつたのである。

### ルイジアナの購買。テキサスへの影響

一千八百〇三年に、ルイジアナの州が佛蘭西から北米合衆國へ六千萬フランクの代價で賣られた、由來此ルイジアナの地は前に述べたラ、サル等の遠征の功に由て佛蘭西の領分であつたが、其後佛と西とが時々の都合次第で、或は西班牙に與へられ、又た佛蘭西へ返され又た西班牙へ與へられ、遂に十九世紀の初年に至つて時の佛帝ナポレオンが再び西班牙から之を返して貰ふた、然るに北米合衆國の方では由來其國の大動脈ともいふべきミシシッピー河の効用を全ふせしめん爲には其河口に領地を得なければならぬ、而してルイジアナは即ち其要地であつて、特にニューオルレアンの都會は河口の最大要港、之を手に入ればミシシッピー河の効用全からずといふので、頻りに苦心の矢先さへ、今度又たルイジアナが佛蘭西に返されたと聞き、西班牙の手に在るうちは又た何とか乗すべき間隙もあらうが、當時冲天の勢ある大ナポレオンの手に握られては一大事なりと、時の米國大統領トーマス、セフワソンは、早速リヴィンズ



ストーンといふ人と、彼の有名なるモンロー主義の元祖セームス、モンローとの二人を特使として佛國に遣し、ナポレオンに向て、ルイシアナのニューオルレアンスを賣て呉れまいかと頼ませた、ナポレオンも始のうちは兎や角言て、談判は一二年間も長引ひて居たが、ゼンワソンは米國歴代の大統領中でも、内治外交ともに有数の強硬家であつたから一日言ひ出しては後へは引かず、若し佛蘭西が金で賣らぬとならば止を得ず英國と同盟をして砲火を以てでも買はねば置かぬとの意氣込をはのめかした、流石のナポレオンもこれには持て餘し、今や將に英國と戦争を開かうとして居る際に英米同盟をせられては一大事、殊に軍費多端で、金も入用なり、兵力の上には於ても所詮ルイシアナまで手が届かぬと悟て、寧ろ米人に呉れてしまへといふので、米國の使者に向てそれでは單にニューオルレアンスの都市のみならず、ルイシアナ全体をお譲申さうと言ひ込んだ、ルイシアナといへば巨大なる一領州、之を悉く買へとは聊か當時の米國に取ては難有迷惑、左様な大きな土地は入用がないから、ドーカニューオルレアンスの町だけにして下さいと罷退したが、今度はナポレオンの方で承知せず、

遂に押付同様にルイシアナ全体を米國は買はせられた、此時ナポレオンは、其内閣員に向て、米人は只だ一都市だけを欲しがるとだが、乃公は一領土全体を呉れて遣るのだ、之を英國の奴等に取らせるよりは寧ろ米人に得させて、益此二國を競争せしむる方が此方の利だ、代價などは何うでもよいから五千萬フランク位で見切てやれと言ふたが、時の大藏卿マルボイといふ人が、それではあんまりだと思ふて、最初一億フランクと吹さかけて、到頭六千萬フランクと外に二千萬フランク米國からの借金の限消しとで落合ふた、當時米國の方では、此賣買に反對する者があり、イヤ買物が大き過ぎるの、代價が高過ぎるの、大統領は越權だの違憲の所置だのと色々苦情もあつたがゼンワソンの鐵腕能く反對論を鎮壓し、遂に憲法までも改正せしめて、ルイシアナを合衆國の所領と確めた、嗚呼此ルイシアナ獲得ころは、實に米國今日の雄大を致した端緒である、此獲得なくルイシアナにして長く他強國の手の中に入れたならば、米國は終に今の太平洋中で達するの道が開けなかつたのである、

而して此外交上の大成功を紀念する爲にミヅリ州の聖路易といふ佛國的名の都府で

此間開かれた大博覽會に、一方は東洋に於て、將に巨大の新版圖を獲得せんとして居る此日本が參加して、非常の好評を博したのは實に歴史上好個事實の吻合で、日本國力の前途萬々歳、吾人は必ず北氷洋にまでも印度洋にまでも達せねばならぬ。それはさておき此時の領土賣買は名はルイジアナであつたが、其境界は實に漠たるもので、テキサスの如きは何ちらに屬するか不明であつた、米國中、ルイジアナの境は大陸の西端太平洋までに達すると主張した者がある、米人も中々厚皮しいと言ふものだ、又た夫れよりメット温和な人達ですらルイジアナの境は西の方リオグラント河に至るものと考へた、左様すればテキサス全体が買得地の中へはいつて仕舞ふとなるから、西班牙の方ではそれは怪しからぬといふので直に米國に向て、ルイジアナ境界論の談判を持ちかけた、此時分はまた西班牙の外交も聊か押し前の利くときであつたし、且は合衆國では敢て此上大きな土地は要せぬとの意見が盛で、其後日に至てすら、有名なデュニルウエブスターの如きも、米國はロッキーマン山を以て東西二つに分ち西は西で、別に一國を建てしむるが善いといふ様な意見を持って居た位であるから

間もなく米西二國の折れ合が付て、ルイジアナの境は今のテキサスの東端サマイン河といふとになし、夫から若干の地は中立地帯即ち無主地、其餘の部分は矢張西班牙領としたから、此時テキサスの地は中立地帯と西班牙領との二つに割られたのである、

### メキシコの獨立、米人のテキサス侵入

斯る間にメキシコの自由黨は頻に西班牙に叛ひて獨立を企て、遂に其目的を達して一新共和國を建て、テキサスは其支配下となつた、ところが又た西班牙黨の爲に覆されて、共和黨の有志はテキサスの右の中立地帯に逃げ込で來た、而して此中立地帯には多くの惡漢無賴の徒も入り込んで、秩序甚だ紊亂したから米國政府は已むなく兵を派して之を鎮した、

然るに其米兵一隊の長にマギーといふ青年士官、中々大膽な男で、竊にメキシコ内亂の際に乗じてテキサス侵略の野心を起し、先づ政府の軍職を辭し、義勇兵を糾合し、メキシコ共和黨の亡命者をも之に加へて、『北方共和軍團』と稱し、破竹の勢でテキ

サズに侵入し、オリアドといふ所の砲臺を攻取て之に據た、メキシコの將軍サルセドといふ人、衆を以て之を圍で數回の激戦をしたが抜くと能はずして退ひた、但しマギ自身は此難戦の後に死し、ケンバーといふ人々に續ぎ、一千の兵を以てサルセドの二千の兵をサンアントニオに攻めて此城を占領した、此戦勝の風聞が八方に傳はると同時に、兼てよりテキサスの沃土と良氣候に垂涎して居た亞米利加人の冒険者等が、追々と馳せ加はり西班牙黨のメキシコ將軍エリソンアをアラザンの陣屋に襲ふて之を破るなど大分威勢が善かつたが、程なく此注進がメキシコに達するとアレドンドといふ將軍が大兵を率ひて出張し、奇襲を用ひて亞米利加人をメデナといふ所で全然と撃破し、茲に亞米利加の侵入者等は致命の大打撃を被り、八百五十人の中で逝るゝもの僅に九十三人、メキシコ兵は勢に乗じてテキサス州中を蹂躪し有らゆる狼藉を働ひた此失敗の結果、テキサスの風甚だ號はず、非メキシコ黨の運動は只僅にミナ、ペリーラフエツト杯と稱する水滸傳的の豪傑がガルベストン島に割據して之を獨立の共和國と稱して都府を建て、其實は海賊が本職で革命が内職といふ工合で、一時はメキシコ

灣の海王と呼ばれ、各國の通商船を擱擗せしめたものであるが、餘り其害が甚しいので、一千八百二十一年合衆國政府の爲に逐ひ拂はれた其後またミスシッピ州のロングといふ人が、メキシコ共和黨の亡命者トンスパラノオスといふ者と合同して、随分大仕掛けで一再ならずテキサスに侵入して見たが結局メキシコ兵に撃退せられて成功せなかつたのみならず、其失敗の結果、他の平和なる移住者までがメキシコ兵に憎まれて、テキサス在住の亞米利加人は酷い目に遭ふた、之を要するに此時までは未だテキサスに於けるメキシコの鼎の重量は亞米利加人の冒險隊位の方では動かせなかつたのである

### 米國人のテキサス植民

偕てこれまではテキサスに於ける米人侵入の時代で植民の時代は未だ來なかつた、即ち時々若干の冒険者等が私に兵隊を組織して、テキサスに侵入し、先づ暴力を以て土地を奪ふて、然る後に植民をしようといふ企てたのであるが、斯る企は強大なる國家の兵

力を後に控へて居るので無くては到底成功するものでない、亞米利加人も之を悟て今度は更に身分もあり思慮にも富た人々が、公然とメキシコ政府に願出で、其政府に服従を盟ふて、極めて温和なる方法に由て、テキサスに植民を行はうと考へる様になつた、而して此計畫の卒先者は、ミソリ州のモセス、オースチンといふ人である、彼は其故郷に於て、前に述べたテキサス侵入者の殘黨から其土地や氣候の有様を聞いて羨望に堪へず、如何にもして之に植民を企てたい、メキシコの政府と雖も、温和しく願出で、平和に移住し其良民とならうと欲する者を眞逆拒絶も虐待もすまいと確信し、特に其當時メキシコ本國も王黨滅びて、自由黨の政府となつたのを幸に、遂に一千八百二十年といふ年に自ら遙々とサンアントニオの政廳へ出頭して、メキシコからの知事に面會し、俱に其志望を陳べたが、初は非常の權幕で叱り飛ばされ政廳から逐ひ出されて、失望落膽、メソ〜と出て來たが、此時圖らずも其以前ニューオルレアンスで懇意にしたとあるバストロップといふメキシコの將軍に邂逅した、此バストロップは兼てよりオースチンの人格を知居たから、其失望の話を聞て大に氣の毒に思ひ

貴君の様な人の請願ならば政府も多分許可せぬともあるまいから、氣永く待つ積なら自分は之を引受けて斡旋をしてやらうといふた、オースチンは、知事の氣色に恐れ生命も危ぶくはないかとまで心配をして居た矢先へ此良友を得て大に喜び、何分宜しく頼むとて、バストロップに此一件を托して歸て來たが、此時分のテキサス旅行は實に危険と難澁に満ちたもので、オースチンは漸どの思で歸宅すると間もなく病み付き其後程經て、サンアントニオの政廳からテキサス州に植民願の赴聞届けるとの指令の來た頃には、彼は最早死期に近いて居た、そこで其子息のスタイン、エフ、オースチンといふ青年に、我が遺志を繼で、宿望を達するとを懇々遺言した、此子息は父に似て甚だ熱心活潑な者で、お父さん安心して下さい此事業は私一生の事業として身を以て遂行しますからとて、安心して父を死なした。父の死後直に此少オースチンがセグインといふ人と共にサンアントニオに上り、知事と契約を取結んで、彌植民の權利を得た、此オースチンころはテキサスに於ける秩序あり組織ある米人植民の元祖であつて、今尚ほ已れに因たオースチンといふテキサス州の首府の名に不朽の紀

念を止めて居るのである

### 植民の條件

此時分の植民契約は、政府の方では先づ出願者に向て若干の土地を無代價で下げ渡し、最初六年間は税を免する、其出願者は之を配下の個人個人に分け與へる、而して政府に對しては一切の責任者となる代りに、配下に對しては絶対の主治者となり、刑罰の權までも握り而して植民は皆メキシコ政府に向て從臣の義務を負ふ之を民長制度でも譯さうか、彼方の言語ではエンブレヤリオシステムといふのである、今までのテキサスでは最早此時代は過去に居るが、朝鮮滿洲杯に將來の日本人が行て行ふにはまだぐ其餘地は澤山あると考へる、荒蕪地全体杯と大きく出掛けてやり損ふよりは寧ろ斯の法を折衷したものも朝鮮邊で行ふては何んなものか。

オースチンは此時サンアントニオ河とラバカ河の中間、最豐饒な部分で莫大なる面積の地を貰ふて、これへ三百家族の米人を移した、尤も其人格は餘程吟味して連れて行た様である、植民の方では、各二十一才以上の男子は一人に付六百四十エーカー即ち一哩四方の面積、妻帯者ならば九百六十エーカー、更に子供一人に付て百六十エーカー、若し奴隸を連れて居れば其一人に付て更に八十エーカーの地を主人は受けた、又若し植民が水車だの其他公衆の用を爲す建物を建つれば更に多く土地が貰へた、商人職工は町の部分で宅地を貰ふたのである

オースチンも初の中は金が無く、道具や食糧を運ぶとが出来ず、朋友から借金をして漸く送つたものを、印度人の爲に悉皆盗まれたり隠分と困難をしたが、非常の堅忍を以て業を創め親切に部下を世話し、部下も亦た品格あり、忍耐力あり且つ一致の精神に富む米人であつたからまことに都合よく事業が捗て、次第に繁昌し、遂に今日米國的テキサス州民の元祖となつたのである

オースチンに次で西班牙種のメキシコ人マルチン、ド、レオンといふ人が一千八百二十五年に同様の方法を以て四十一家族の植民を移し、更に海岸地方即ち今の米作地方に於て三十哩四方の御用地を政府から貰ふて、これへ百五十家族を移し其首府をグオド

ラフアス、ザイクトリアと稱し、一時中々都合よく發達した、今もザイクトリアといふ町は残つて居る。斯く段々と品格あり身分ある人々が、山師的でなく、實着に植民を爲して、土地を開發し成功の途に就たから、メキシコ政府に於ても大に満足をして、他の人にも之を許すこととなり、一千八百二十五年には、ウィットといふミツリ州の人がオースチン植民地の西南隣へ四百家族を移し、ミツリ州撰出の元老院議員ゼームス、ケルといふ人が故く其名譽職を辭して、此の植民の理治者となり、遂にコンザラスといふ永久植民地が出来た。

これと同年にヘイデン、エドワードといふ人も亦た廣大なる土地を中部テキサスのナカドシユスとて今は菓樹園野菜園を以て有名な地方で貰ふてこれに植民をしたが、此邊は其當時メキシコ人が已に多く入り込で居り、印度人の勢力も強く夫れらと衝突してメキシコ官吏に訴へたが、片手討の裁判ばかりでエドワードは毎も負公事、遂には折角資本と勞力を掛けて開いた地をメキシコ人に奪はるゝ様となり、エドワード

自身は已に自金の五萬弗も費し、其部下の植民も皆大なる費用を使ふて折角經營したものを空しく他人に奪はるゝとは、如何にも残念といふ所から、遂に他の米國植民の援助を頼みに、兵を擧げたが、時未だ熱せず事志と違ふて失敗に終り、エドワードの地は他人の有に歸した、此一件は尤もメキシコ官吏の方が悪かつたのであるから、大に一般米人の憤怒を買ひ會吏更に大なる革命運動を引き起すの導火線となつた。エドワード以外の植民地は皆なよく發達し一千八百二十年にはテキサス州中白人の全數が僅かに四千人より無かつたのが、其後の十年間には米國人のみにて二萬人もある様になつて來た、而してこれらは皆永住決心の移住者であつたから、テキサスに於ける米人の基礎は漸く強固になつて來た、已に一方に於て基礎が固まり他方に於て官吏の匪政愈甚しかつたとすれば、米人たるもの如何でか永く之を忍で居らう、テキサスの歴史は一直線に革命の時代に入つた。

### テキサス米人の革命運動

テキサスの米人が次第に繁殖し發達して來た時分にメキシコではアナスタシオ、ハスタチットといふ其名前と共に其氣風も亦甚だ面倒な男が大統領となつた、此男は頻りにテキサス米人の發達を忌み嫌ひ、一方では新に米人の同州に入るを禁じ、他方には在來の米人を大に壓制した、或はテキサスを以て罪人の放逐地と爲すの法律を通過し、或は米人に重税を課し、或は恣にテキサスの地に何時にても戒嚴令を布いて、人馬金銀を徵發し、不平を唱ふる目星しき者は軍律を以て罰し、或はテキサスの各港を封鎖して海運の道を杜絶するといふ勢になつて來たから、清教徒の子孫はイツカナ屈服しない、遂にテキサス米人は一千八百三十二年六月十三日タートルパヨーといふ所で大集會を開いて、激烈なる決議を爲した、併し此時はまだ獨立の宣言とまでは進歩せず、テキサス人は飽までもメキシコ國の憲法に服従し、又之を擁護する其爲に今の憲法蹂躪者たる大統領ハスタチットには飽までも反對し、メキシコ自由の領袖たるサンタ、ナンナに全力を盡して聲援するといふとであつた、それで、百姓は皆妻子に家を守らせ、鋤を捨て劍を取て起ち、ヴェサコといふ所で官軍を破り、進でアナハウクの砲臺を陥れて大砲を奪ふた、左様右様して居る間にメキシコでは例の自由の領袖たり一旦テキサス人が仰で以て救主とまでも思ふたサンタ、アンナが再び勢力を得大統領となつたから、テキサス人は早速メキシコへ使節を遣して六ヶ條の請願をサンタ、アンナに致すととなり、マモン、オースチンといふ人が撰れて其使者に立た、然るに此サンタ、アンナといふ男、中々の奸雄で、始は自由の泰斗共和の木鐸と稱して居たが、彌勢力を得るに隨て其本色を現はし、次第に專制君主の態度を取り、テキサス人の請願に耳を傾けず、却てコスといふ人を大將としてテキサス鎮壓の爲に兵を送り、テキサス人がモーアといふ人を大將として據守して居たモンサレスの砲臺を攻めたが、メキシコ兵は撃退せられた、此のテキサス人の一勝は非常に人意を強ふし我も我もと馳せ加はつて兵力を益しサムエル、ヒューストンといふ人を總大將として、彌整々堂々と戰をする様になつた、此のヒューストンはテキサス獨立のワシントンとも稱す可き人で、今も其名を米作地方の大都會ヒューストン市に由て紀念せられて居る、其後各所に小戦ありテキサスに於けるメキシコの政廳サンアントニオの皆は一旦テキサス

砲臺を陥れて大砲を奪ふた、左様右様して居る間にメキシコでは例の自由の領袖たり一旦テキサス人が仰で以て救主とまでも思ふたサンタ、アンナが再び勢力を得大統領となつたから、テキサス人は早速メキシコへ使節を遣して六ヶ條の請願をサンタ、アンナに致すととなり、マモン、オースチンといふ人が撰れて其使者に立た、然るに此サンタ、アンナといふ男、中々の奸雄で、始は自由の泰斗共和の木鐸と稱して居たが、彌勢力を得るに隨て其本色を現はし、次第に專制君主の態度を取り、テキサス人の請願に耳を傾けず、却てコスといふ人を大將としてテキサス鎮壓の爲に兵を送り、テキサス人がモーアといふ人を大將として據守して居たモンサレスの砲臺を攻めたが、メキシコ兵は撃退せられた、此のテキサス人の一勝は非常に人意を強ふし我も我もと馳せ加はつて兵力を益しサムエル、ヒューストンといふ人を總大將として、彌整々堂々と戰をする様になつた、此のヒューストンはテキサス獨立のワシントンとも稱す可き人で、今も其名を米作地方の大都會ヒューストン市に由て紀念せられて居る、其後各所に小戦ありテキサスに於けるメキシコの政廳サンアントニオの皆は一旦テキサス

兵の占領に歸たが、此事メキシコに聞へて今度はサンタ、アンナ自ら大將としてサンアントニオを返返し、テキサス人は一時勇しく防戦したが、力窮り遂に名譽の降服を爲後サンタ、アンナは其時許可した條件を破て、テキサス人の將卒を皆殺にして仕舞ふた是をアラモの虐殺といふ。此サンタ、アンナは自ら西方の大ナボレオンと稱した位な英雄だから、中々テキサス人の手に餘つて、大將ヒューストンも一時大に窮境に陥つたが非常の忍耐を以て銳氣を養ひ遂に最後の戦は一千八百三十六年四月二十一日午後三時今のヒューストンの市に程遠からぬハリスボルクとて今は鐵道停車場になつて居る邊で、ヒューストンは僅に七百の兵を以てサンタ、アンナの一千六百の兵を襲撃し、アラモの虐殺を記憶せよとの軍叫で縱橫無盡に敵を打破り、サンタ、アンナをも捕虜にした、併しサンタ、アンナは矢張メキシコ大統領で有から禮を厚くして之を遇し一般人民が重る怨を晴さん爲に彼の身命を要求したが、老成なるヒューストンが承知せず、サンタ、アンナは一旦米國大統領の手に渡され後メキシコに歸つたが、此一敗に懲て急にはテキサスへ盛返して來なかつた、此大勝利は事實に於てテキサスの獨立を確めたのである

である

### 獨立したるテキサス

テキサスは獨獨立して、ヒューストン將軍を大統領とし、憲法を制定して十四人の元老議員と二十九人の代議士を撰舉し、一國の形體丈々は備へたが、何分少數なる人口であるから戦争の爲に財政甚困難、國の借金は山を爲し、又た一方メキシコのサンタアナが何時再び攻めて來るかも知れず、人心胸々の有様であつたから、一時も早く北米合衆國へ合併して貰ひたいといふ希望が盛で、最初の大統領撰舉會の時にも已にテキサス國會は合衆國へ合併の決議を大多數を以て通過した位であつた然るに合衆國に於ては、當時の有力者間に合併反對の説が多く、時の大統領マヤクソンは合併賛成であつたに拘らず、此交渉は頓と捗らなかつた、其反對の理由の重なるものは(一)今テキサスを合併すれば忽ちメキシコと隙を生じて戦争を起すと必定である、然るに合衆國は戦をしてまでも差當り必用のない領土を廣むるに及ばぬ、(二)



北部の諸州は奴隸使用の悪風を厭ふ、然るにテキサスといふ大々的奴隸使役州を新に加へるとは不得策であるといふ様な議論が盛で、テキサスの大統領ヒューストンはマヤクソンに懇諭せられて、止むなく一時其提議を撤回した併し其當時メキシコには内憂外患交り起り、爲にテキサス人は新なる侵入を被らずに數年を過したが、一千八百四十二年に再びバスケエスといふ者が大將としてテキサスに攻め入り、サンアントニオを陥れた、併しバスケエスは、久しからずして兵を引いて歸つたこれは矢張サンタアナの方から出たことで其侵入の目的はメキシコは尙ほテキサスの獨立を認めないやといふことを示し、他日第三國との間に問題が起つた時分に議論の地を爲す爲め、更に之を切言すれば、サンタアナは北米合衆國に對して暗にテキサス合併承認の入念をしたのである、其後またテキサスは屢々メキシコ兵の侵入を受けて數年間は寧日がなかつた

テキサス合衆國に合併す

斯る次第であつたから、テキサス人は是非に合衆國へ合併してもらいたい夫れには所詮尋常の手段では行かぬといふので、テキサスの政治家は例の二重政略を試みた、此二重政略とは丁度かの布哇のクーバーが故らに日本を激して浪花艦を送らせて、一方合衆國として合併を承諾させた同一の筆法、英語でいふダブルポリシーで、テキサス人は私に款を英國に通じて秋波を注ぐ態を見せた、英國もこれには萬更野心なきにしもあらずらしく見へたから、モンロー主義の合衆國は勢歇して居られず、テキサス合併論が大分米國の方で盛になつて來た、テキサス人も中々仕事をしたものである、其中合衆國では益合併論盛になり大統領ポーク選挙の時にはテキサス合併のとは其政項中の一となつた、勿論これには尙ほ反對論者もあつたが、ポークは、縦ひ之が爲にメキシコと戦争しても仕方がない、今メキシコとせねば他日英國とせねばならぬ何うせ早晚避けられない戦争ならば一日も其時機を早め、都合よくは音にテキサスのみならず、遂に西の方太平洋に至るまでも取て仕舞ふといふ大々の膨脹政客を畫策して居たのである、何となれば英國は此時既にカリフォルニアを得んと手を代へ品を替へて

盡力して居たからである。遂に一千八百四十五年二月二十五日とらふに、北米合衆國の國會に於て、テキサス合併案は下院では九十八に對する百二十、上院では二十五に對する二十七の多數を以て通過した。此の米國の一舉は果然としてメキシコとの戰爭を引き起した

メキシコ戦争

テキサス合併案の通過するやメキシコよりの抗議も益なく、メキシコ大統領は其公使をワシントンから引き揚げしめた。合衆國はザカリー、テイラーといふ將軍、後にポークに於て大統領となつた人に命じて、一團の兵を提げてテキサスに入り、今の米作地帯中のホルマスクリスチといふ所を本營とした。夫れより米軍は連戦連勝、破竹の勢で敵の本國に攻め上り遂に一千八百四十七年九月十四日(我國の弘化四年)にメキシコ府を陥れて、城下の盟をさせ、此戰勝の結果として、北米合衆國は單にテキサスのみならず、カリフォルニア、ユタ、チマタ、ニューメキシコ、の全部とコロラドの一部及びアリゾナの大部分、即ち今の合衆國の殆んど西半分の地を擧げて、僅々一千五百萬

弗の涙金で以て、メキシコから召し上げて、茲に太西太平洋沿岸に達する巨大國を形成したのである。其後米國が近年に至て、布哇や比律賓を併せたのも畢竟此のポークの大膨脹政略が基を爲して居るのであつて、マッキンレーは一寸其上は置きを爲し、ルースベルトは一步進んでパナマ運河の開鑿と出掛けて居る事は國力の發展上優勝劣敗亦た止むを得ざるの現象であつて、今更帝國主義が斯うだのモンロー主義がアードの他から小言を言た所が致方がないのである

之に反して憐む可きはメキシコで、此時の大失敗の爲に、其領土中最も土地豐饒富源無盡氣候溫和の部分を悉く隣強の爲に召し上げられ今は只だ彼の通りの有様となつて仕舞ふたのである、これも匪政と頑迷の應報復た如何ともすべからざる次第である今日の北米大陸は大勢已に定つて、亦た斯の如き附け入り蠶食の餘地が無くなつたら、強國演武の舞臺は南米大陸に移り、其役者は重もに獨乙が立役となつて、年々歲々驚く可き資本と人間をベル、ブラシル、アルゼンチン邊に送り込み、今は其基礎半として抜く可らず、絶へず土人や政府と面倒を引き起しては、其機に乗じて港灣杯を

強請り取り、他日大飛躍の基を造て居るのであつて、彼の日清戦後支那の疲弊に乗じて膠州灣を強取したと杯は由來幾回となく南米に試みて居る得意の藪を一寸方面を代へて東洋で嘗て見たのである

今日世界の競争場は一は東洋、一は南米及南亞である、日本人民も益奮勵して何所までも出て行かなければならぬ、人或は政府の外交を云々し、且つ其外交を有効ならしむるものは、一に海陸の軍備であると言ふが、それは最早今日では古風の思想である、今日以後の外交を有効ならしむる要素は、係争地に於ける其國の人民の勢力扶植脚根確立に在るのである、是れ有てこそ政府は外交上談判の材料を得、又た戦争をしていも其土地を確めて置く必要が生ずるのである、肝甚の人民が出て行て商なり農なり工なりを行ふ勇氣もない様とならば、政府が只た兵力を以て、領土の虛有權を取た所が仕方がないではないか、但し外交の方から國民が外に出て行くことを妨げる杯は尙更以ての外の沙汰である、尤もこれは今のテキサスと日本人とは關係のない議論であるけれども、會々此テキサスに於ける米人勢力扶植の歴史は、これから何れにか

發展して行かうといふ否な行かねばならぬ運命を有て居る日本民族の爲に好圖の參考資料と信するが故に、知らず識らず斯く話が深入りをしたのである

### 南 北 戦 争

南北戦争に於てはテキサスは無論戦敗諸州のうちであつたが、戦争の爲には其地が西南に偏して居る丈けに、人民は甚しく兵馬の災に罹らなかつた、只た有名なるガルヴエストンの地が一再ならず南北両軍の争點となり、其附近の人民が多少迷惑をした位である、併しテキサスからは無数の壯丁が他へ出て行て南軍に投じて、最も勇ましく戦ふた、而して遂に南軍の失敗の爲にテキサスも亦た多くの壯丁を失ひ、馬匹は悉く軍用に召し上げられ、又其結果として奴隸使役を廢せられた爲に、廣漠なるテキサス土壤の開發は一大頓挫を蒙つたのみならず、戦争後には多くの南軍兵士が絶望の餘暴漢となり、大に秩序紊亂したが、時の州知事「ニューライ」といふ人が嚴正な支配を施して之を恢復した

## 最近のテキサス

南北戦争終局の後テキサスは再び合衆國の一州として、新に奴隸禁止の條項を加へた憲法を承認して加盟し爾來州人の努力により、其富源が天下に知れ渡るに連れて、米國內地からは勿論歐羅巴の諸國特に伊太利獨逸から年々多くの移住者を得、漸く繁昌に赴て、今日では前に掲げた如く農産丈けでも年に六億圓以上に上り、鐵道會社の數七十一社、其線路延長一萬一千二百九十五哩五十九釐を有する程になり、特に最近五六年間には、同州ホウモント地方に於ける大石油脈の發見やら沿海地方米作の發達の爲に、遂に其富源が日本までも鳴響くこととなり、適當の日本人之に移住して已に昨年は米作上大成功を奏する者もあつた以上見渡し來る所、テキサスの歴史は徹頭徹尾米人が堅忍刻苦勩力行の歴史である彼等は始より政府の力に頼らず、個々の私人が團結の力によつて、他國の領内に入り込み、深く其土地に喰ひ付ひて、遂に優勝劣敗自然の作用に従て、最後は其土地の主

人公となつたのである、今の日本國民の發展を語るもの殊には之を實行せんとする者の爲には、其目的が何れの方面にあるを問はず、テキサスに於ける米人成功の歴史は好個の模範と言て宜しいと考へる

## テキサス州米作の實驗

明治三十八年五月廿一日印刷  
明治三十八年五月廿一日發行

定價金四拾錢

複製  
不許  
拔萃  
製

著述者

吉村大次郎

大阪市南區天王寺石ヶ辻町五三〇五

發行所

海外起業同志會

同町

印刷者

井上仲藏

大阪市南區磯谷中之町五十三番邸

發賣所

輝文館植房田

大阪市東區備后町四丁目

發賣所

前川文榮閣

東京市日本橋區箱崎町

印刷所 大阪市中區南區  
井上活版製所

## ○海外起業同志會の成績及び抱負○

本會は設立以來未だ年餘に過ぎずと雖も、能く堅實にして有爲なる渡米起業者を糾合して、其農商たるを將た學生視察者たるを問はず、各志に應じて其目的を達せしむるに努めたり、而して彼土に於ける成績に至ては昨年中本會々長自ら往訪調査する所の結果極めて佳良にして、既に諸種の事業に將た學業に着々成功の途に登れる者百十有餘名至る所の地方に會員の先輩は能く後進晚來の人々を善道誘掖し親睦の情鞠す可きものあり、特にテキサス州米作の事業は相當の資力と設備とを要すること勿論なれども、苟くも其力を備ふる人々の爲には其有望なると決して内地諸事業の倫を同ふする所に非ることは本會獨得の實驗上之を保證するに躊躇せず、即ち發して此冊子となる所以なり

本會は茲に既往二年間の實驗と調査の結果に鑑み、組織を擴張し規則を改定し、以て愈我目的を大成するの域に直進勇往せんと欲す、但し本會は往々世間に現はるゝ渡米周旋業者の如きものに非るを以て、無資力にして渡米を希望する者若くは海外旅券の周旋を依頼し來る者の如きは全然として拒絶する所なり

明治三十八年四月

## 海外起業同志會規約

### 目的

第一條 本會は日本帝國域外の各地に於て日本人の經營從事し得べき農商學業等の實況及び方法を調査し以て會員の實行を助くるとを期す

### 方法

第二條 前條の目的を遂行せんが爲に書籍雜誌の類を出版して同志者に頒ち且つ會員の質問に答へ、渡航實行上諸般の便宜を供す

第三條 會員外の人にして視察若くは學術修行の目的を以て海外に渡航せんとする者の爲に質問に應ずるとあるべし

### 地位

第四條 本會の幹部を大阪に置き支部を神戸市横濱市及び北米合衆國シヤトル市、ポルトランド市、サンフランシスコ市、ロスマンセルズ市、及びテキサス州、ヒューストン市同州バレンスタイン市并に韓國重要な地に設く

### 會員の權利義務

第五條 會員たらんと欲する者は本會役員の承諾を経べく且本會の事業及び維持の費用に充る爲、入會の際一人金五圓以上を任意寄附すると要す

第六條 會員は各自海外起業上に關し本會幹部及び支部に於て調査研究したる一切の事項を知り、又た其實行上必要な指導誘助及び後援を受けるの權を有す

第七條 在外會員は努めて其從事する所及び見聞する所の事業状況を本會幹部及び支部に報告し且新渡航の會員の事業調査若くは經營に助力すべし

第八條 本會々員は第五條に掲ぐる寄附金の外、會費若くは手数料其他何等の名義を以てするに拘らず毫も金品の要求徵集せらるゝこと無し

第九條 會員外の人にして本會に事業の質問若くは調査を托する者には其事の難易により一圓以上相當の謝料を出さしむべし

經費

第十條 第一條に掲ぐる調査に要する費用及び幹部維持の費用は第五條に掲ぐる寄附金其他有志者の任意寄贈を以て之に充て、支部の經營は各其自理に任す

役員

第十一條 會員の互撰を以て會長一名、幹事一名、會計一名、協議員二名を置く

第十二條 會長は本會を統理し役員を監督し、幹事は一切の事務を處理し、會計は金品の保管及び出納を司り協議員は協議に參し且會計を監査す

第十三條 會長は無報酬の名譽職と爲す、其他の役員に對しては本會資力の狀況を計り會長の裁斷を以て相當の報酬を爲すことを得

會計

第十四條 本會は毎年六月十二月の兩度會計の報告を爲す  
第十五條 規約條項の増減變更は會員多數の同意を以て之を爲すことを得

大阪市南區天王寺石ヶ辻五三〇五番地  
神戸市榮町二丁目  
横濱市太田町六丁目

# 海外起業同志會事務所

- 各航路瀛船定期發着表御入用ノ御方ハ報一第早速御送可申上候
  - 當店ハ御乗客并ニ御荷物ノ取扱ヲ專ラ親切丁寧ヲ旨ト致シ決テ御豫定御乗船差支無之様御取計可申上候
  - 近來米國航路ニアル瀛船減少ノ爲メ上中下等船客共申込過多ニ付愈々御渡航御決定ノ上ハ至急旅行券ヲ書留郵便ニテ御送り申込ニ被下度サソレバ其旅券ヲ以テ瀛船會社へ申込ニ仕リ御乗船出來候様手配仕候
  - 貨物御搭載ノ時ハ前日ニ稅關手續船積等仕候ニ付本船出帆三日前迄ニ弊店へ着荷仕候様御出荷被下度候
  - 御乗客ハ本船出帆ノ前日健康診斷及手荷物ノ消毒有之候間成メク出帆ノ三日前迄ニ御來談被下度候
  - 布哇米國加奈陀ニ於ケル移民官ノ尋問及檢疫其他上陸ニ關スル情況ニ就テハ御照會ニヨリ御回答申上候
- 日本郵船株式會社  
 東洋瀛船株式會社  
 太平洋瀛船株式會社  
 加奈陀太平洋鐵瀛船株式會社
- 旅客貨物取扱店**  
**山崎初太郎**  
 旅館  
 回漕業
- 神戸市榮町貳丁目百貳拾壹番邸(三番踏切筋正金銀行東側)  
 神戶港ニ於ケル有數ノ好位置ニアリ
- 弊店之位置 ●**  
 一 丁 (東南) ● 三ノ宮驛ヨリ凡ソ一丁余(北) ● 日本郵船會社神戶支店(一丁東南) ● メリケン波戶場(外國行乘降場)へ  
 銀行神戶支店(西隣) ● 大阪商船會社神戶支店(一丁西) ● 中ノ島(關波)內國行乘降場(一丁西南) ● 正金  
 所一丁(東) ● 三井銀行神戶支店(半丁東南) ● 香港上海銀行神戶支店(一丁東) ● 住友銀行神戶支店(一丁内  
 (東) ● 三ノ宮驛電信局一丁(東北) ● 三十四銀行神戶支店(半丁西) ● 萬國人居留地(凡ソ一丁内  
 外(東) ● 瀛池銀行神戶支店(半丁内(北) ● 東洋瀛船會社(太平洋瀛船會社) ● 萬國人居留地(凡ソ一丁内  
 外(東) ● 瀛池銀行神戶支店(半丁内(北) ● 三井物産會社(太平洋瀛船會社) ● 萬國人居留地(凡ソ一丁内  
 注意 弊店へ御光來の節は三ノ宮停車場にて御下車され候方御便利に御座候



◎海外起業同志會  
員の御用取扱

SAMUKIYA HOTEL  
OTAMACHI ROKUCHOME.  
YOKOHAMA.

◎確實と親切は當  
店の特色なり

日本郵船株式會社  
東洋汽船株式會社  
太平洋汽船株式會社  
加奈陀太平洋汽船株式會社  
北太平洋汽船株式會社

特約店

海外御渡航諸君取扱專業

汽船  
問屋

旅館

讚岐屋榮太郎

横濱市太田町六丁目鐵道前

電話千三百九番

汽船汽車發着毎ニ御送迎仕御手荷物等其他  
懇切ニ御取扱可仕尙御渡航之節ハ御申越次  
第汽船發着表御送附申上ゲ其他一般詳細御  
通知可致候

技術の巧妙は  
滿都に冠たり

男女洋服調進所

價の低廉なるは  
世界に冠たり

◎本店儀従來主として大阪川口居留外國人を華主と致し常に歐米の最新流行を他  
に先ちて知るの便宜を有し、仕立の巧妙と價の廉なるを以て紳士淑女の愛顧  
を博し來り候處、今般特に渡米者諸君の爲に最も適當なる品質を撰み其仕立は  
生粹の米國ツ子に劣らぬ様御渡航の地點に由りて服地質の厚薄色合の差違等を  
注意仕又内地用紳士の爲にも天晴世界一等國の列に伍し得るの進歩を發輝仕候  
間何卒御用仰せ付けられ度奉願候

◎大阪市内及び附近の地は御はがき被下候は、直様見本持參可仕誓て御約束の期  
日を違へず御調進可仕候

大阪市西區本町通  
二丁目五百五十番地

池田松之助敬告

### ◎桑港唯一高等日本風旅館◎

**◎客室** 一泊金一弗以上、一週間一ヶ月貸ルルあり御食事應候ニ注文  
庭園運動場、玉場、其將棋盤、大弓場、新聞縱覽等一切無料にして  
開放仕候御閑暇に御隨意に御遊び被下度候

**◎遊戯** 新年宴會、婚姻の式、各種の歡迎會、新年かたる會、茶會、花會、  
玉會、甚會書畫會、其他多人數御集會等には室内快潤にして天  
井高く粧飾美麗にして近隣の風塵至らず新鮮なる空氣は始終新陳代謝して終  
日徹宵の御燕會にも少しも御不快を感ずる事なく窓外の花卉翠綠滴れんばか  
り眺望の佳麗なる全市街の風色港内船艦の出入手に取る如く宛も仙境畫裏に  
あるが如し

桑港スタクトン街六〇六番

日本紳士

帝國ホテル

貴女旅館

IMPERIAL HOTEL

606 Stockton Street

San Francisco, Cal.

### 置位

日本波止場及第三街停車場 よりはカチー街行青色電車に乗りカチー街にてマイン街に下車し左に  
二丁を上る  
オーランド停車場 よりはカリフォルニア街の電車にてスタクトン街に下車し左に二丁目  
マーケット街 方面よりはパアツェルの電車にてマイン街に下車し右に折れて一丁

### 桑港第一日本旅館

在米日本人勢力の發達に  
連れて當旅館諸君の御  
愛顧を被むり繁榮に赴き  
候ニ付昨年来鍊瓦造の一  
大建築物を經營仕今や新  
舊両館に於て一百有餘の  
客室を有し高尚清潔且つ  
極めて輕便に同胞諸君の  
御宿泊に供するを特色と  
致し且船車の送迎御手荷  
物の取扱等精確丁寧に取  
扱候間倍舊の御愛顧なし  
下され度館主鈴木政吉赤  
心を以て敬白仕候

桑港スタクトン街八一〇半

大磯屋

八一

同支店

八〇〇

明治旅館

M. SUZUKI

810 1/2 Stockton Street

San Francisco, Cal.

○在ヒューストン市、ヒューストンホテルは從來日本人起業者  
諸君の策源府と相成居候

○ヒューストンホテルはテキサス州中に散在せらるゝ日本人植  
民地とは鐵道電信電話の便によりて聯絡致居候

○清潔なる客室と低廉なる宿料を以て日本人御來客に對し特別  
に御注意申上候は當ホテルの特色にして其御扱ぶりの可否に  
至りては海外起業同志會主幹吉村大次郎君の熟知し給ふ所に  
御座候

○テキサスへ御入來の節は桑港其他の港より御出發前御一電被  
下候は、ヒューストン市停車場まで御出迎へ可申上候

HOUSTON HOTEL.

Cor. Congress and San Jacinto Sts.  
HOUSTON, TEXAS.

テキサス産日本米一手販賣

花苳及竹材醬油其他食料品

桑港日本醸造會社製酒イーグル正宗專賣

桑港ゲリー街四二四

直輸出入商

植田商會

UYEDA COMPANY.

424 Geary Street,  
San Francisco,  
Cal.

土地家屋賣買貸借の周旋  
農工業の調査設計  
農産物委託販賣

桑港カリフォルニア街四二〇番地

# 日米勸業社

420 California Street.  
San Francisco, Cal.

本社はユタ、ワイオ、ン、アイダホの各州に支社及び出張  
所を有し各方面日本人起業者の中心點となる

THE  
JAPANESE AMERICAN  
234 TURK STREET, SAN FRANCISCO, CAL.

○日米は凡そ日本人海外居留地に於て發行せらるゝ  
邦語日刊新聞の最大なるものなり  
○日米は米大陸に於ける新日本形成の一大機關を以  
て自ら任じ東西兩洋の時事は双鏡の如く日々の紙  
上に活現し來る

# 日米

○日米は特に在米日本人實業の状態を精確に報道す  
るを力むるが故に農商とると研究者とるとを問  
はず苟くも北米起業に志ある人の座右には欠く可  
らざるの参考資料たるものなり

桑港市ターク街二三四

# 日米新聞社

SPLENDID OPPORTUNITY!!

To join the Japanese Colony at Palestine, Texas.

This section of Texas is adapted to growing fruits and vegetables. Peaches begin bearing three years after planted, the land is used for growing vegetables until the orchard comes in bearing. These crops of vegetables are grown each year, making net profit to the farmer of \$100 to \$300 per acre. The climate is moderate all the year round. Palestine is 450 feet above sea level and 200 miles from the Gulf; has 45 inches rain fall per annum. Country is gently rolling hills, red, gray and black sandy loam soils, is well watered with living spring water and covered with oak, pine and hickory timber (improved farms for sale) some having small young peach orchards on same, moderate class of improvements, farms of 50 to 100 acres each at from \$25 to \$50 per acre, according to class of improvements, size and age of orchard and etc. but good farms with nice dwellings on them can be bought at \$30 per acre. 50 acre farm cost \$1,500 to \$2,000 each \$700 to \$700 first payment, balance payable in one, two and three years.

John F. Hargrave, 501 Biuz Bldg., Houston, Texas.

此地方はテキサス州中に在りて特  
に葉實及び野菜の耕作に就て  
桃は三年にして有名にして、樹  
の間の地は他の野菜を耕作する  
得可く、野菜は年々三作を取り、  
エーカーに對し百弗乃至三百弗  
純益あり、氣候は周年暖和にして  
此地海抜四百五十尺、空氣清潔  
景絶佳なり、降雨は年々四五  
リチ排に達し、地勢は徐ろに高  
色黒色の水壤土にして、灌漑は  
泉及び雨水を以て、地味は赤  
べし、若き桃園の小家を、所  
種々有之、代價の如きは、分  
御相談に應ずべく候、  
ルヒデング五〇一室  
ジョン・ハイグレイヴ

HOUSTON, TEXAS.

LEON BIGELOW SMITH,

Attorney and Counselor at Law,  
Rooms 4 and 5, Shepherd Bldg., over Houston  
Nat'l Bank, Cor. Main and Congress Streets  
TELEPHONE 416. P. O. BOX 833.

HOUSTON, TEXAS.

Attorney for Houston National Bank and  
Fidelity Savings Association.

REFERENCES: St. Louis MO: Levis-Zukoski Mercantile Co. NEW YORK: Hard  
And Rand; Mercantile National Bank.

○土地賣買契約締結の監督書類調製  
其他一切の法律的交渉顧問及び訴訟  
事務の委嘱に應ず  
○拙者へ御照會の書面は日本語にて  
御認め被下候とも直に御應答可仕候  
ヒューストン市ヨナル銀行法律  
フワイデリテイ貯蓄會社顧問  
海外起業同志會顧問  
辯護士  
レオン・ビジロー・スミス  
ヒューストン市コングレンス街メイン街角  
シニバードビルデンク第四及第五室

○當商會は拾五萬エーカーの最良土地を有し四十エーカー以上は何程にても分け賣可致候

○當商會の地所は米、綿、玉蜀黍、麥、甘薯、苺、其他の野菜瓜類に適し米作の爲には充分の用水を得可く候

○土地代價は一エーカーに付八弗以上十五弗以下に御座候

○當商會の信用に關しては在紐育府日本帝國總領事内田定槌君及ヒエス、エ、ナツプ博士其他テキサス州中何れの銀行及び官吏にも御問合せ可被下候

ヒューストン市

ダブリウ、シ、モア商會

W. C. Moors & Company  
Real Estate Agents, Houston, Texas

仲買人

### 最良無上米作地賣却

○當商會はテキサス州内に於て三萬エーカーの最上米作地を所  
有し又は之を支配仕居候

○該地所は有名なるオウルトン郡中の淺井地方に位し四十尺乃至六十尺の深さに於て潤澤なる灌水量を得るを保證可致候  
○此地方は米作の本場にしてガーウードに於ける日本人殖民地に程近き所に御座候

○當商會は米作地所并に日本人諸君殖民の爲には特別便宜の御取計を可致候且詳細の事情及び土地代價の義は御一書被下次第直に御知せ可申候

テキサス州ヒューストン市

シ、ダブリウ、ホール商會

O. W. Hahl & Co.  
Land and Immigration Agents  
Houston, Texas.

不動産

仲買人

ヒューストン市メイン街二〇七番

エヌ、エール、ミルス商會

N. L. MILLS & Co.

Real Estate and Investment Agent.

207 Main Street,

Houston, Texas.

- 極めて低廉なる利子を以て起業者諸君に金融の御相談に應ず
- 米作適當地所百六十エーカーより二萬エーカーに至る御隨意に御賣渡申すべし
- 鐵道及び河流に沿ひたる製造工場用土地數種御好み次第
- ヒューストン市の内外に於ける屋敷地及び建家賣買の周旋
- 其他テキサス州中何れの土地にても大小ともに御望に應ず
- 土地代價其他テキサス産業上の實況に至りては御書面御問合せ次第早速御答可致候

○當商會はテキサス州中米作地の本場たるオロートン郡エルカ  
ンポ附近に於て數萬エーカーの良土を有し拂込容易の方法を  
以て賣却可致候

○該地方に現在せる日本人米作者の諸君は皆當商會より土地購  
買せられたる方々に御座候

ヒューストン市コングレンス街ウイルソンビルディング第一室

不動産 エヌ、エ、ピーカー

仲買所 N. A. BAKER

ROOM 1, WILSON BLDG.

HOUSTON, TEXAS.

# 當商會の專業たる 農用車用馬具並に乘鞍類一式

代價低廉製造堅牢なるが故に特に日本人  
起業者諸君の御愛顧を專にす御來店の上  
物品御検査被下度候

ヒューストン市コンGRESS街一〇二二

## ノースラップ及びクラーク馬具商會

Northrup and Clark Saddlery Co.

1012 CONGRESS AVE.

Houston, Texas.

- テキサス州コロラド郡レインシターの灌溉會社米田は其面積の廣潤なる其結構設備の雄大なる世界第一と稱せらる
- 地味最も豊饒にして氣候最も佳良なり
- 其田面は二萬五千エーカーより成り其大部分は現に耕作せられあり二百五十戸の住宅を有し馬匹農具一切完備せり
- 今や持主他の事業上の都合によりて其全部若くは小部分にても十ヶ年賦の容易なる方法を以て賣却可致候
- 其他井水灌溉法に由れる米田并に中部テキサス畑及び菓物地帯に於て御好に應じ賣地可致候

ヒューストン市郵函七九〇

不動産

## アールエスアレン

R. S. ALLEN

Box 790

Houston, Texas.

仲買人



98  
127

○米作用地所五十エークルより二萬エークルまで、大小御隨意  
製造工場適用地鐵道及び河流に沿て御周旋可仕候、又土地に  
對して金融の御相談に應ず

○ヒューストン市の内外に於ける宅地建物、其他テキサス州中  
何れにても御目的に適ふ土地御周旋可申上候

ヒューストン市コンGRESS街一〇一六半

レジエー、コリンス

F. J. COLLINS

Real Estate and Investment Agent.

1016 1/2 Congress Ave.

Houston, Texas.

不 動 産

仲 買 人

THE  
Agricultural Industries

IN TEXAS.

BEING SEQUEL TO THE  
CULTIVATION OF RICE

IN TEXAS.

BY

*James D. Yoshimura.*

Published under the auspices of

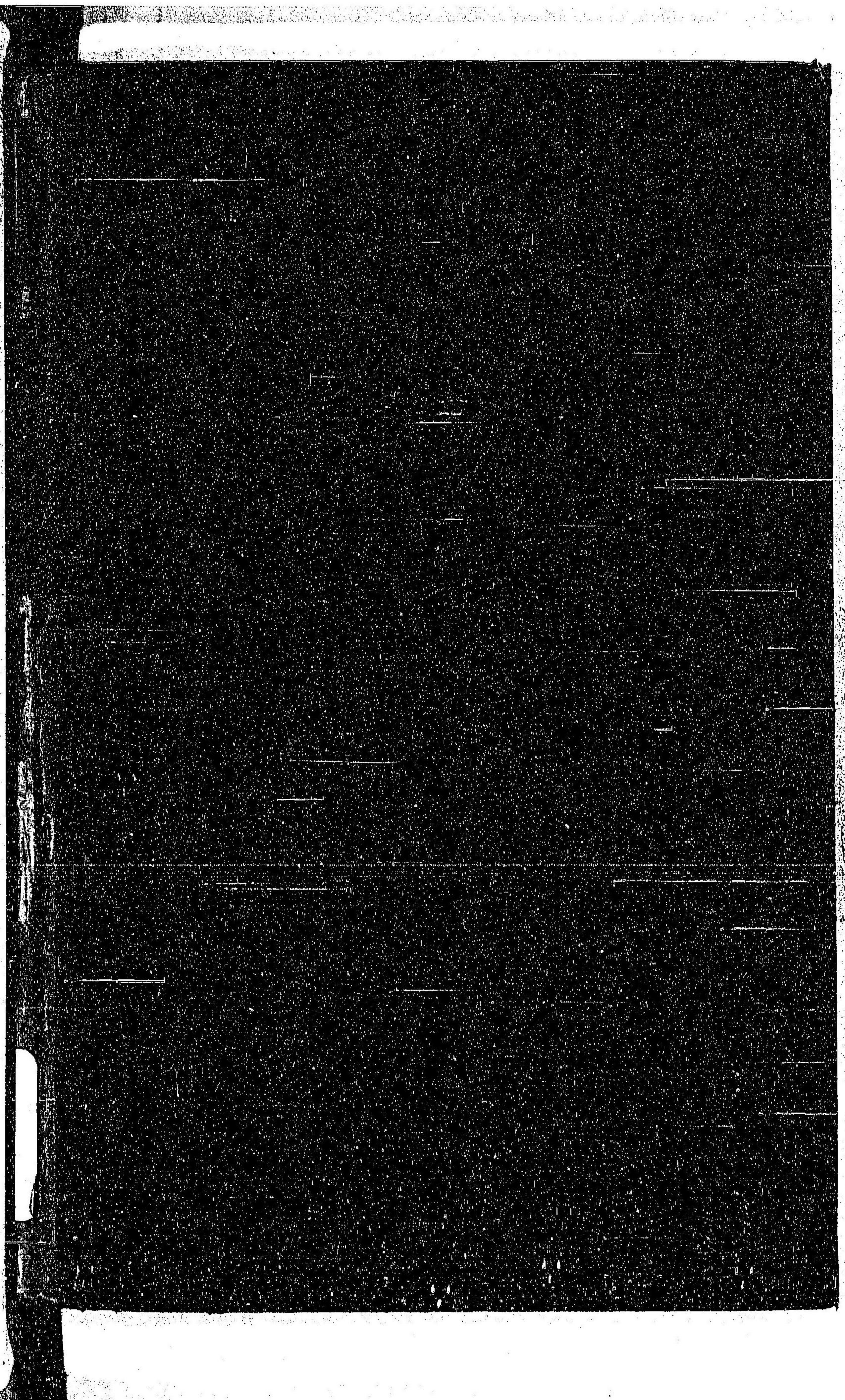
THE

Japanese Colonization Society.

OSAKA.

1905.

98  
127



98  
127

062184-000-8

98-127

テキサス州米作の実験

吉村 大次郎/著

M38

CCA-0979



